

令和 7 年度第 4 回白井市市民参加推進会議

日 時：令和 7 年 1 1 月 7 日（金）
午後 1 時 3 0 分～午後 3 時 3 0 分
場 所：白井市役所 本庁舎 2 階
災害対策室 1

次 第

1 開 会

2 議 題

（１）答申（案）総合的評価について（資料 1－1、2、3）

事業番号① しろいこどもプラン（第 3 期白井市子ども・子育て支援事業計画）

策定事業（子育て支援課）

事業番号② 白井市地域防災計画修正事業（危機管理課）

事業番号③ 白井市犯罪被害者等支援条例制定事業（市民活動支援課）

事業番号④ 路上等における受動喫煙の防止に関する条例（案）制定事業（健康課）

（２）令和 7 年度以降継続事業の市民参加の実施状況に対する中間評価
（資料 2）

（３）答申書の提言事項の検討について（資料 3）

3 その他

4 閉 会

3 令和 6 年度市民参加の実施状況に対する総合的評価

令和 7 年度市民参加推進会議では、市が令和 6 年度に実施した市民参加条例第 6 条で規定する 4 事業（令和 6 年度中に事業が終了した 4 事業）について、市民参加の実施状況に対する総合的評価を行いました。

また、令和 7 年度以降継続する 11 事業について、コメントのみの中間評価を行いました。各事業の評価の詳細については答申書本文を御覧ください。

令和 6 年度市民参加の実施状況に対する総合的評価一覧

	事業名	担当課	評価（30 点満点）		ページ数
1	しろいこどもプラン（第 3 期白井市子ども・子育て支援事業計画）策定事業	子育て支援課	20 点	◎（良好）	
2	白井市地域防災計画修正事業	危機管理課	20 点	◎（良好）	
3	白井市犯罪被害者等支援条例制定事業	市民活動支援課	23 点	◎（良好）	
4	路上等における受動喫煙の防止に関する条例（案）制定事業	健康課	21 点	◎（良好）	
5	白井市第 3 次教育大綱策定事業	企画政策課	コメント評価		
6	白井市第 6 次総合計画策定事業	企画政策課	コメント評価		
7	白井市第 3 次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業	企画政策課	コメント評価		
8	（仮称）白井市第 2 次行政経営指針策定事業	総務課	コメント評価		
9	白井市都市マスタープラン改定事業	都市計画課	コメント評価		
10	（仮称）景観とみどりの基本計画策定事業	都市計画課	コメント評価		
11	白井市地域公共交通計画策定事業	都市計画課	コメント評価		
12	地域福祉計画策定事業	社会福祉課	コメント評価		
13	白井市第 2 次産業振興ビジョン（仮称）策定事業	産業振興課	コメント評価		
14	（仮称）白井市男女共同参画計画策定事業	市民活動支援課	コメント評価		
15	（仮称）障害者計画策定事業	障害福祉課	コメント評価		

※評価点は 30 点満点とし、◎良好（20 点以上）○妥当（16 点～19 点）△要改善（10～15 点）×不良（9 点以下）の 4 段階に区分した判定結果を表示しています。

※評価方法は、①市民参加の方法（10 点満点）、②市民参加の手続き（基準）（10 点満点）、③市民参加の手続き（水準）（10 点満点）の合計点で行います。

令和6年度市民参加実施事業 評価まとめ表

資料 1－2

事業番号① しろいこどもプラン策定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎		折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文		平均	
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）	◎良好	24点	◎良好	24点	◎良好	23点	○妥当	16点	○妥当	18点	○妥当	18点	◎良好	23点	◎良好	20点
評価項目	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分
①市民参加の方法	9	適切	9	適切	10	適切	5	やや不適切	7	概ね適切	7	概ね適切	8	概ね適切	7	概ね適切
②市民参加の手続き （基準）	8	妥当	8	妥当	8	妥当	6	要改善	7	妥当	7	妥当	7	妥当	7	妥当
③市民参加の手続き （水準）	7	とても積極的	7	とても積極的	5	積極的	5	積極的	4	やや積極的	4	やや積極的	8	とても積極的	5	積極的
手法ごとの評価	評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点	
審議会の設置	基準	9	基準	7	基準	9	基準	6	基準	7	基準	8	基準	7	基準	7
	水準	6	水準	6	水準	6	水準	5	水準	4	水準	6	水準	8	水準	5
パブリックコメント （意見公募）募集	基準	6	基準	8	基準	9	基準	9	基準	9	基準	9	基準	7	基準	8
	水準	7	水準	7	水準	9	水準	8	水準	7	水準	5	水準	8	水準	7
アンケート 調査の実施	基準	10	基準	9	基準	9	基準	8	基準	7	基準	9	基準	7	基準	8
	水準	9	水準	9	水準	9	水準	5	水準	4	水準	7	水準	8	水準	7
意見交換会の開催	基準	7	基準	8	基準	7	基準	2	基準	7	基準	6	基準	7	基準	6
	水準	7	水準	8	水準	1	水準	2	水準	4	水準	3	水準	8	水準	4
その他の方法	基準	10	基準	8	基準	7	基準	6	基準	7	基準	6	基準	7	基準	7
	水準	10	水準	8	水準	3	水準	5	水準	4	水準	2	水準	8	水準	5

事業番号② 白井市地域防災計画修正事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎		折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文		平均	
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）	◎良好	25点	○妥当	17点	○妥当	17点	◎良好	20点	◎良好	20点	○妥当	19点	◎良好	23点	◎良好	20点
評価項目	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分
①市民参加の方法	9	適切	5	やや不適切	3	不適切	7	概ね適切	7	概ね適切	7	概ね適切	8	概ね適切	6	やや不適切
②市民参加の手続き （基準）	8	妥当	7	妥当	7	妥当	7	妥当	8	妥当	7	妥当	7	妥当	7	妥当
③市民参加の手続き （水準）	8	とても積極的	5	積極的	7	とても積極的	6	積極的	5	積極的	5	積極的	8	とても積極的	6	積極的
手法ごとの評価	評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点	
審議会の設置	基準	8	基準	7	基準	5	基準	4	基準	7	基準	7	基準	7	基準	6
	水準	7	水準	5	水準	5	水準	4	水準	4	水準	6	水準	8	水準	5
パブリックコメント （意見公募）募集	基準	9	基準	7	基準	9	基準	10	基準	9	基準	8	基準	7	基準	8
	水準	9	水準	5	水準	9	水準	8	水準	7	水準	5	水準	8	水準	7

事業番号③ 白井市犯罪被害者等支援条例制定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎		折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文		平均	
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）	◎良好	28点	◎良好	22点	◎良好	20点	◎良好	26点	◎良好	23点	◎良好	24点	◎良好	20点	◎良好	23点
評価項目	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分
①市民参加の方法	9	適切	8	概ね適切	6	やや不適切	9	適切	9	適切	8	概ね適切	6	やや不適切	7	概ね適切
②市民参加の手続き （基準）	10	良好	8	妥当	8	妥当	9	良好	9	良好	9	良好	6	要改善	8	妥当
③市民参加の手続き （水準）	9	とても積極的	6	積極的	6	積極的	8	とても積極的	5	積極的	7	とても積極的	8	とても積極的	7	とても積極的
手法ごとの評価	評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点	
パブリックコメント （意見公募）募集	基準	10	基準	8	基準	8	基準	9	基準	9	基準	9	基準	6	基準	8
	水準	9	水準	6	水準	6	水準	8	水準	5	水準	7	水準	8	水準	7

事業番号④ 路上等における受動喫煙の防止に関する条例（案）制定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎		折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文		平均	
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）	◎良好	20点	◎良好	23点	◎良好	24点	◎良好	24点	○妥当	18点	◎良好	21点	◎良好	20点	◎良好	21点
評価項目	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分	評点	区分
①市民参加の方法	8	概ね適切	9	適切	7	概ね適切	9	適切	7	概ね適切	8	概ね適切	6	やや不適切	7	概ね適切
②市民参加の手続き （基準）	7	妥当	7	妥当	9	良好	9	良好	7	妥当	8	妥当	6	要改善	7	妥当
③市民参加の手続き （水準）	5	積極的	7	とても積極的	8	とても積極的	6	積極的	4	やや積極的	5	積極的	8	とても積極的	6	積極的
手法ごとの評価	評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点	
パブリックコメント （意見公募）募集	基準	7	基準	7	基準	9	基準	9	基準	7	基準	8	基準	6	基準	7
	水準	5	水準	7	水準	8	水準	6	水準	4	水準	5	水準	8	水準	6

答申（案）

総合的評価について

1.しろいこどもプラン(第3期白井市子ども・子育て支援事業計画)策定事業

※総合評価は、全委員の総合評価の平均点(小数点以下切り捨て)で算出しているため、
①市民参加の方法・②市民参加の手続き(基準)・③市民参加の手続き(水準)の合計とにならない場合もあります。

「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)			
審議会の設置			10点満点
	評価項目(配点)	実施状況	条例基準
		任期:令和5年2月～令和8年2月 募集期間:令和4年11月1日～令和4年11月18日	
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数:18人(男6女12) 市民公募委員:3人(うち無作為抽出2人)	7 (妥当)
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	応募者:1人(男0女1) 決定者3人(男0女3) 選出地域:第三小学校区1人、七次台小学校区1人、池の上小学校区1人 選考基準:公開 応募方法:郵便、電子メール、担当課窓口 周知方法:広報しろい、HP	
3	会議の回数・時間帯	会議の回数:4回(すべて公開) 時間帯:平日日中	
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知:HP、情報公開コーナー、図書館 会議終了後の会議資料公開:有	
5	結果公表・取扱い	公表の方法:HP 会議録:要点訳 公開に要する期間:1か月以内	
コメント			
条例基準		望ましい水準	
・条例基準を概ね満たして実施されていた。(多数) ・公募委員を適切な方法で募集しており、20代の委員が参加していたが、開催数、公募委員が少なかった。(多数) ・周知、結果公表をHP以外でも実施できると良かった。(多数) ・会議録はわかりやすくまとめられていた。(岡澤)		・公募委員は50%以上が望ましい。(稲葉) ・会議が傍聴しやすい時間に開催されていた。(稲葉) ・周知・結果公表は条例基準を満たすとともに、工夫がまいい。(折原、岡澤)	

パブリックコメント募集			10点満点	10点満点
評価項目(配点)		実施状況	条例基準	望ましい水準
1	募集期間・提出方法	募集期間: 令和6年12月26日～令和7年1月15日 応募方法: 郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口	8 (妥当)	7 (とても積極的)
2	提供資料	計画や条例の素案、計画や条例の概要、パブリックコメントの目的・意見の提出方法などを記した案内、意見書		
3	資料の提供場所	担当課窓口、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館		
4	事前周知の方法	広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口		
5	結果公表・取扱い	公表の方法: HP、情報公開コーナー、各センター、広報しろい (令和7年2月26日) 意見の件数: 4件 審議会等への結果報告: 有(令和7年2月14日)		
コメント				
条例基準		望ましい水準		
・条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井、折原、岡澤、増子) ・広報でQRコードから回答できる点は良かった。(稲葉) ・結果公表が図書館でされていない。(大嶋)		・適切な募集や審議会に報告している点は良かった。(竹内、稲葉) ・より多くの手段で公表すべきと考えている。(大嶋、折原) ・実施時期は年末年始を避けたほうが良かった。(竹内、岡澤) ・意見件数の増えるような工夫が必要。(増子)		
アンケート調査の実施			10点満点	10点満点
評価項目(配点)		実施状況	条例基準	望ましい水準
	実施したアンケート	白井市子育て支援に係るアンケート調査		
1	事前周知の方法	事前周知: 広報しろい、HP、学校を通じての周知 実施目的の周知: 有	8 (妥当)	7 (とても積極的)
2	調査方法・調査期間	郵便、WEB調査(無記名式) 令和5年11月27日～令和5年12月11日(15日間)		
3	調査対象	市内在住の就学前児童の保護者、市内在住の小学5年生及び中学2年生とその保護者		
4	発送件数・回収件数・回収率	発送件数: 4,001件 回収件数: 2,678件 回収率: 66.9%		
5	結果公表・取扱い	結果公表: 令和6年3月29日 公表の方法: 情報公開コーナー、HP、図書館 プライバシーに関わる情報: 非公開 審議会等への結果報告: 有(資料の配布・説明に加え議論を行った)		
コメント				
条例基準		望ましい水準		
・幅広い利害関係者から対象地した点は高く評価できる。 (竹内) ・対象者が目的にあったものと一概には言えない。(大嶋) ・審議会でも議論されている。(竹内) ・回収率が66.9%と高い。(稲葉) ・学校を通じた周知にもかかわらず、回収率が70%を下回っていることから、さらに高いと良かった。(吉井、岡澤) ・周知・結果公表は条例基準を満たすこと。(大嶋、折原)		・アンケート結果がわかりやすい表で公開されており、審議会でも議論されている。(竹内、稲葉、岡澤) ・より積極的な公表を行うことが望ましい。(大嶋、折原) ・継続してアンケート調査を実施。(増子)		

意見交換会の開催			10点満点	10点満点
評価項目(配点)		実施状況	条例基準	望ましい水準
1	開催場所・時間・回数	しろいの未来作戦会議 開催場所:庁舎・保健福祉センター 開催時間・回数:土日休日4回	6 (要改善)	4 (やや積極的)
2	資料の提供	無し(チラシ等により周知)		
3	参加者の資格	・市内在住・在学・在勤の方 ・小学生(4～6年生)・中学生(1～3年生)・高校生等～35歳		
4	事前周知の方法	広報しろい、HP、メール配信、LINE、チラシによるPRの実施		
5	結果公表・取り扱い	HP、情報公開コーナー(令和6年8月19日) 会議録:要点訳		
コメント				
条例基準		望ましい水準		
・結果を審議会に報告した点は評価できる。(竹内) ・ <u>対象者の選定が適切で、回数も4回実施していた。(稲葉)</u> ・ <u>対象者の選定基準が不明確であり、偏りが生じているのでは。(大嶋)</u> ・資料の提供(チラシで代替)、事前周知、結果公表についての取組が弱い。(吉井、大嶋) ・参加者に市民参加の意識を持たせるには、当日のファシリテーションが重要だったと考えます。(折原) ・子ども視点の意見聴取は良かったが、中高年世代の意見聴取も必要だったのでは。(岡澤)		・他課と共同で実施した点は評価できる。(竹内) ・会議内容が適切に公表されている。(稲葉) ・ <u>資料は最低限配布すべき、広く市民の意見を求めるのであれば対象者の資格を限定すべきではない。(大嶋)</u> ・開催場所が庁舎・保健福祉センターに限定されていたが、近隣のセンターでも実施したほうが意見を聴取できたのでは。(岡澤、折原)		
その他の市民参加(子育て支援団体等インタビュー調査)			10点満点	10点満点
評価項目(配点)		実施状況	条例基準	望ましい水準
1	開催場所・時間・回数	子育て支援団体等インタビュー調査 開催場所:庁舎・保健福祉センター 開催時間・回数:平日日中 1回	7 (妥当)	5 (積極的)
2	参加者の資格	子育て支援団体等		
3	事前周知の方法	直接通知		
4	結果公表・取り扱い	公表の方法:情報公開コーナー、HP(令和7年3月26日)		
5	市民参加の内容	生活困窮世帯の動向や、気になることと接した経験・行政等との連携等についてインタビュー(令和6年5月27日)		
コメント				
条例基準		望ましい水準		
・特定の課題について状況把握に努めている点が評価できる。(竹内) ・ <u>対象者が限定、非公開の事由に合理的な理由がある。(稲葉)</u> ・ <u>調査の実施は市民に公表すべきであり、結果公表が図書館で公表されておらず、もう一步公表について、積極性があると良かった。(吉井、大嶋、折原)</u> ・基準に馴染みにくい内容だったと思います。(岡澤)		・審議会では情報共有されている。(稲葉) ・対象者の団体数、人数が不明のため、妥当か判断できない。(大嶋) ・開催記録の公表方法の拡充が必要。時期も遅い。(折原) ・当事者だけでなく、支援団体の視点も必要。(岡澤)		

終了事業 令和6年度

2.白井市地域防災計画修正事業事業

総合コメント	総合評価(30点満点)
【良かった点】 ・修正事業は効率的な議論が重要であるため、市民参加の機会は十分であった。(竹内) ・専門的、技術的性格が強い計画であるため、専門家や関係機関の意見を重視して修正を行うことは合理性がある。(稲葉) ・条例基準に則った適切な取組みである点は評価できる。(稲葉) 【改善点】 ・パブリックコメントの閲覧件数が少なく、意見もなかったことから、分析やその他の手法を検討されると良かった。(竹内、大嶋、岡澤) ・専門的判断に基づく部分が大きい反面、実際の防災行動は市民一人ひとりの主体的な参加が不可欠であるため、二面性を整理することが今後の課題である。(稲葉) ・条例に規定があるとはいえ、審議会に一般公募委員も入れられたら良かった。時代や背景に即してなければ条例の見直しも検討すべき。(吉井、大嶋、折原)	20 ◎(良好)
市民参加の実施状況	評価(10点満点)
審議会の設置: 令和7年2月6日 パブリックコメントの募集: 令和6年12月5日～令和6年12月25日	6(やや不適切)
「市民参加の手続き(基準)」の評価	評価(10点満点)
	7(妥当)
「市民参加の手続き(水準)」の評価	評価(10点満点)
	6(積極的)

※総合評価は、全委員の総合評価の平均点(小数点以下切り捨て)で算出しているため、
①市民参加の方法・②市民参加の手続き(基準)・③市民参加の手続き(水準)の合計とならない場合もあります。

「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)				
審議会の設置			10点満点	10点満点
	評価項目(配点)	実施状況	条例基準	望ましい水準
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数:30人(男27女3) 市民公募委員:0人	6 (やや不適切)	5 (積極的)
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	公募無し 災害対策基本法第16条第6項の規定に基づき、千葉県防災会議の組織に準じて市条例において定めることとされているため。なお、本市条例において市長が必要と認める者(2名以内)を任命するとしているのは、災害時に市と連携が必要な農協及び商工会の職員を任命するため。		
3	会議の回数・時間帯	会議の回数:1回(すべて公開) 時間帯:平日日中		
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知:HP、情報公開コーナー、担当課窓口 会議終了後の会議資料公開:有		
5	結果公表・取扱い	公表の方法:情報公開コーナー、HP、担当課窓口 会議録:要点訳 公開に要する期間:1か月以内		
コメント				
条例基準			望ましい水準	
・微細な変更であるため、効率的に運営ができている。(竹内) ・ <u>公募委員を募集しない理由が明確にされている。(稲葉)</u> ・ <u>公募委員無しの根拠が不明確であり、市条例の見直しを行っては。(吉井、大嶋)</u> ・周知、結果公表が図書館で実施されていない。(大嶋、折原)			・審議会の回数が少ない。(稲葉、折原) ・周知、結果公表は最低限基準を満たし、より多くの方法が必要。(大嶋、折原) ・会議録はHPで公表されていたが、事前周知や公表方法に工夫があると良かった。(岡澤) ・市民公募委員の増員。(増子)	

パブリックコメント募集			10点満点	10点満点
評価項目(配点)		実施状況	条例基準	望ましい水準
1	募集期間・提出方法	募集期間: 令和6年12月5日～令和6年12月25日 応募方法: 郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口	8 (妥当)	7 (とても積極的)
2	提供資料	計画や条例の素案・概要、パブリックコメントの目的・意見の提出方法などを記した案内、意見書		
3	資料の提供場所	担当課窓口、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館		
4	事前周知の方法	広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口、議会への行政運営報告		
5	結果公表・取扱い	公表の方法: 担当課窓口、HP、情報公開コーナー、図書館 意見の件数: 0件 審議会等への結果報告: 有(令和7年2月6日)		
コメント				
条例基準			望ましい水準	
・複数の周知方法を使用していたが閲覧件数が少ない。(竹内) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(稲葉、吉井、大嶋、岡澤、増子) ・検討結果の公表時期も公表したほうが、意見が集まると思われる。(折原) ・意見提出が無かったことをHPで公表されると良かった。(岡澤)			・行政運営報告で周知されている。(稲葉) ・意見提出が無かったことについて関心を高める工夫があれば良かった。(大嶋、岡澤、増子) ・多くの方法で実施されていた。(折原)	

終了事業 令和6年度

3.白井市犯罪被害者等支援条例制定事業

総合コメント	総合評価(30点満点)
【良かった点】 ・市民参加の手法はパブリックコメントだけだが、法令の性格上判断に合理性があり、市公式LINEで周知した効果か、HPの閲覧件数は多かったので周知はできていたと考えられる。(竹内、稲葉、大嶋) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井) 【改善点】 ・概要版等を作成することが望ましい。また、より市民参加を充実させるのであれば、手法を増やすことも有効ではないか。(稲葉、岡澤) ・犯罪被害者週間に併せて意見交換会を実施したほうが良かった。(大嶋) ・今回のようなパブリックコメントの実施を積み重ねていき市民の認知レベルを高めていく活動が必要と思われる。(折原) ・HPの閲覧件数は多かったが意見提出に繋がる取り組みが必要だったのでは。(岡澤)	23 ◎(良好)
市民参加の実施状況	評価(10点満点)
パブリックコメントの募集: 令和6年11月8日～令和6年12月2日	7(概ね適切)
「市民参加の手続き(基準)」の評価	評価(10点満点)
	8(妥当)
「市民参加の手続き(水準)」の評価	評価(10点満点)
	7(とても積極的)

※総合評価は、全委員の総合評価の平均点(小数点以下切り捨て)で算出しているため、
①市民参加の方法・②市民参加の手続き(基準)・③市民参加の手続き(水準)の合計とならない場合もあります。

「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)				
パブリックコメント募集			10点満点	10点満点
評価項目(配点)		実施状況	条例基準	望ましい水準
1	募集期間・提出方法	募集期間:令和6年11月8日～令和6年12月2日 応募方法:郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口、情報公開コーナー、図書館	8 (妥当)	7 (とても積極的)
2	提供資料	計画や条例の素案、パブリックコメントの目的・意見の提出方法などを記した案内、意見書		
3	資料の提供場所	担当課窓口、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館		
4	事前周知の方法	広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口、庁内掲示、LINE		
5	結果公表・取扱い	公表の方法:HP、情報公開コーナー(令和6年12月6日) 意見の件数:0件 審議会等への結果報告:無し(審議会無し)		
コメント				
条例基準			望ましい水準	
・HPの閲覧件数が多かった。(竹内、稲葉、岡澤) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(稲葉、吉井、折原、岡澤、増子) ・結果公表が図書館で実施されていない。(大嶋) ・意見提出に繋がる工夫があると良かった。(岡澤)			・庁内掲示やLINEの周知を行っている。(稲葉) ・公表については、より積極的に対応してほしい。(吉井) ・意見が無くても公表したことは評価できが、事前周知と同じ場所 所で結果公表すべき。(大嶋、折原、岡澤)	

終了事業 令和6年度

4.路上等における受動喫煙の防止に関する条例(案)制定事業

総合コメント	総合評価(30点満点)
【良かった点】 ・LINEを活用して周知を行った点は、工夫されていた。(稲葉、大嶋) ・パブリックコメントの資料や提出意見がわかりやすくまとめられており、意見に対して、丁寧に回答し市民との対話を大切にしている姿勢が見られた。(稲葉、岡澤) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井)	21
【改善点】 ・市民の関心の高いテーマなので、市民参加の手法の検討が不十分だったと考えられる。(竹内、大嶋、折原) ・事前周知の徹底として、市民の目に触れやすくする工夫が求められる。(竹内) ・パブリックコメントの結果公表場所が条例基準を満たしていない。(大嶋)	◎(良好)
市民参加の実施状況	評価(10点満点)
パブリックコメントの募集:令和7年1月16日～令和7年1月31日	7(概ね適切)
「市民参加の手続き(基準)」の評価	評価(10点満点)
	7(妥当)
「市民参加の手続き(水準)」の評価	評価(10点満点)
	6(積極的)

※総合評価は、全委員の総合評価の平均点(小数点以下切り捨て)で算出しているため、
①市民参加の方法・②市民参加の手続き(基準)・③市民参加の手続き(水準)の合計とにならない場合もあります。

「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)				
パブリックコメント募集		10点満点	10点満点	
評価項目(配点)		実施状況		
		条例基準	望ましい水準	
1	募集期間・提出方法	募集期間:令和7年1月16日～令和7年1月31日 応募方法:郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口	7 (妥当)	6 (積極的)
2	提供資料	計画や条例の概要、パブリックコメントの目的・意見の提出方法などを記した案内、意見書		
3	資料の提供場所	担当課窓口、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館		
4	事前周知の方法	広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口		
5	結果公表・取扱い	公表の方法:HP(令和7年2月26日) 意見の件数:6件 審議会等への結果報告:無し(パブリックコメント実施後に審議会の開催予定がなかったため)		
コメント				
条例基準		望ましい水準		
・手法が一つであるのに期間が短かった。(竹内) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(稲葉、吉井、増子) ・結果公表が情報公開コーナー、図書館で実施されていない。(大嶋、折原、岡澤) ・提出意見はわかりやすく公表されていた。(岡澤)		・市民の関心が高いテーマだが閲覧件数が少ない。増やす取り組みが必要。(竹内) ・LINEを活用したからか、応募件数が6件あった。(稲葉) ・提出された意見に対して適切に対応している。(稲葉) ・公表の方法に工夫が見られなかった。(折原)		

5.白井市第3次教育大綱策定事業

総合コメント		
【良かった点】 ・審議会、パブリックコメントに加えて、意見交換会を数回開催したことが高く評価できる。(竹内) ・しろいの未来作戦会議(意見交換会)は、市民の意見や視点が丁寧に記録されている。(稲葉) ・市民公募委員なし、パブリックコメント0件だが、しろいの未来作戦会議(意見交換会)を開催したことは意義があった。(折原) ・子どもや若い世代が意見を述べる機会を設定されたことは良かった。(岡澤) ・しろいの未来作戦会議(意見交換会)で多くの意見が得られたのは興味深い。(増子) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井、増子) 【改善点】 ・意見交換会の内容がどのように政策に反映されているかが不明確。(竹内) ・審議会の委員構成に、公募市民の参加があるとよい。(稲葉、吉井、大嶋、折原) ・パブリックコメントの設問の構成や表現がやや答えにくい印象があるため、参加しやすくなる工夫があると良い。(稲葉) ・意見交換会の対象を35歳以下としたが、子供の親世代で36歳以上の方の意見も取り入れるべき。(大嶋) ・学校教育だけでなく、社会教育の視点も必要。(岡澤) ・パブリックコメントは敷居が高いため、中高年世代も意見交換会の対象とすることも必要では。(岡澤)		
市民参加の実施状況		
審議会の設置:期間なし パブリックコメントの募集:令和7年4月29日～令和7年5月19日 意見交換会の開催:令和6年5月12日～令和6年5月19日		
「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)		
審議会の設置		
	評価項目(配点)	実施状況
		任期:各就任時期による(4年間) 募集期間:無し
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数:4人(男2女2) 市民公募委員:0人
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	公募無し(教育委員会による構成のため)
3	会議の回数・時間帯	会議の回数:2回(すべて公開) 時間帯:平日日中
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知:HP、情報公開コーナー、図書館 会議終了後の会議資料公開:有
5	結果公表・取扱い	公表の方法:HP 会議録:逐語訳 公開に要する期間:2か月以内
コメント		
・公募委員を取り入れるべき。(竹内、稲葉、大嶋、折原、増子) ・教育委員の出席者が少なく、教育委員の発言が少ない。(大嶋) ・会議開催回数が少ない。(大嶋、折原) ・教育総合会議を審議会に置き換えているため条例基準での評価が難しい。(岡澤) ・事前周知は各センター、LINEを検討する等、取り組みを強化すると良かった。(吉井、岡澤) ・会議公表がHPのみだが、そのことを周知する工夫があると良かった。(岡澤)		

パブリックコメント募集		
評価項目(配点)		実施状況
1	募集期間・提出方法	募集期間:令和7年4月29日～令和7年5月19日 応募方法:郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口、Webフォームサイト(クエスラント)
2	提供資料	計画や条例の素案、パブリックコメントの目的・意見の提出方法などを記した案内、意見書
3	資料の提供場所	担当課窓口、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館
4	事前周知の方法	広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口、メール配信
5	結果公表・取扱い	公表の方法:無し 意見の件数:0件 審議会等への結果報告:有(令和7年7月1日)
コメント		
・問い合わせがあったため、関心のある方に届いている点は評価できる。(竹内) ・閲覧件数が少ないため、検討が必要。(竹内) ・Webフォームサイトなど幅広い(新しい)応募方法を設定している。(稲葉、岡澤) ・募集期間が十分(4週間)に設定されている。(稲葉) ・結果公表の取組が弱い。意見が0件でも公表はすべき。(吉井、大嶋) ・募集期間に大型連休を含んでいるので時期への配慮は必要。(大嶋) ・意見が0件だったことの分析と工夫(公表予定時期の公表、概要版作成等)を行うと良い。(稲葉、大嶋、折原、岡澤)		
意見交換会の実施		
評価項目(配点)		実施状況
1	開催場所・時間・回数	しろいの未来作戦会議 開催場所:庁舎・保健福祉センター 開催時間・回数:土日休日 4回
2	資料の提供	無し(チラシ等により周知)
3	参加者の資格	市内在住・在学・在勤の方 ・小学生(4～6年生)・中学生(1～3年生)・高校生等～35歳
4	事前周知の方法	広報しろい、HP、メール配信、LINE、チラシによるPRの実施
5	結果公表・取り扱い	令和6年8月19日HP、情報公開コーナー 会議録:要点訳
コメント		
・結果を審議会に報告した点は良かった。(竹内) ・多数の方(毎回10名以上)が参加している点は良かった。(竹内、稲葉) ・ユニークな試みで素晴らしい。(稲葉) ・結果報告のレポートがわかりやすく公表されている。(稲葉) ・取り組みが弱く、より強い積極性を求めたい。(吉井) ・開催場所、時間、回数、対象、事前周知、結果公表及び取り扱い等がすべて適切に行われている。(稲葉) ・出席者への資料がなかった点は疑問を感じる。(大嶋) ・対象者を35歳以下に限定したことは民意を聴いたことにはならない。(大嶋) ・参加者に対して市民参加の意識を深めるため、当日のファシリテーションが重要だったと考える。(折原) ・子どもの視点からの意見聴取は良かった。一方で中高年世代の意見聴取も必要。(岡澤) ・身近なセンターで開催する等の工夫があれば良かった。(岡澤) ・参加者を増やす工夫があると良い。(増子)		

6.白井市第6次総合計画策定事業

総合コメント		
【良かった点】 ・多様な意見を集める(方法、回数)取組みを実施していた。(竹内、稲葉、大嶋、折原、岡澤) ・意見交換会は適切な人数、LINE、チラシによる周知、会議資料の開示など、環境整備が工夫されている。(稲葉) ・アンケートはWeb回答を導入し、回収率が52.3%と高かった。(稲葉) ・パブリックコメントの期間が28日間実施され、Webフォームを導入していた。(稲葉) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井、増子) ・パブリックコメントの意見35件中、12件を反映していた。(大嶋) ・アンケート調査やしろいの未来作戦会議で若い世代を対象にしたことは効果的だった。(岡澤) 【改善点】 ・若い世代のアンケート回収率が低いのは改善点。(稲葉、折原) ・意見交換会、住民投票はより一層の積極性が求められる。(吉井) ・事前周知、公表場所が条例基準を満たしていない。(大嶋) ・意見交換会で対象や内容が重複していた点は今後検討すべき。(岡澤)		
市民参加の実施状況		
審議会の設置: 令和5年12月7日～令和8年5月30日 パブリックコメントの募集: 令和6年12月26日～令和7年1月22日、令和7年8月22日～令和7年9月18日(実施予定) アンケートの実施: 令和6年1月12日～令和6年3月1日 意見交換会の開催: 令和6年4月25日～令和7年2月9日 住民投票の実施: 令和6年11月21日～令和7年12月15日		
「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)		
審議会の設置		
	評価項目(配点)	実施状況
		任期: 令和5年12月～令和8年12月 募集期間: 令和5年11月1日～令和5年11月15日
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数: 15人(男10女5) 市民公募委員: 4人
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	応募者: 7人(男5女2) 決定者2人(男1女1) 選出地域: 池の上小学校区1人、桜台小学校区1人 選考基準: 公開 応募方法: 郵便、ファクシミリ、電子メール、担当課窓口 周知方法: 広報しろい、HP、各センター、LINE
3	会議の回数・時間帯	会議の回数: 7回(すべて公開) 時間帯: 平日日中
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知: HP、情報公開コーナー、図書館 会議終了後の会議資料公開: 有
5	結果公表・取扱い	公表の方法: HP 会議録: 逐語訳 公開に要する期間: 2か月以内
コメント		
・条例基準を満たしており、開催頻度も適切。(竹内) ・他の市民参加で集約された意見も議論されていて良かった。(竹内) ・適切な人数で、公募委員の参画もなされている。(稲葉) ・公募委員募集の周知が情報公開コーナー及び図書館で実施されていない。(稲葉、大嶋、折原、岡澤) ・開催期間・感覚が適切で傍聴者が参加しやすい。(稲葉) ・公募委員募集でLINEを活用している点は良いが、結果公表でも活用する等の工夫があると良かった。(稲葉、岡澤) ・会議録の公表が情報公開コーナー及び図書館で実施されていない。(大嶋、岡澤) ・基準を最低限とし、より多くの手法で周知すべき。(大嶋) ・会議録をわかりやすく作成する工夫があると良かった。また、公開を1月以内にできると良かった。(折原)		

パブリックコメント募集		
評価項目(配点)		実施状況
1	募集期間・提出方法	募集期間:令和6年12月26日～令和7年1月22日 応募方法:郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口、Webフォームサイト
2	提供資料	計画や条例の素案、パブリックコメントの目的・意見の提出方法などを記した案内、意見書
3	資料の提供場所	担当課窓口、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館
4	事前周知の方法	広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口、メール配信
5	結果公表・取扱い	公表の方法:広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口 (令和7年5月1日) 意見の件数:35件 審議会等への結果報告:有(令和7年3月4日)
コメント		
・開催時期に配慮(年末年始以外に実施)してほしい。(竹内) ・策定までの期間は十分であり、計画にも反映されている。(竹内) ・募集期間が基準以上の28日間で実施されている。(稲葉) ・Webフォームサイトなど幅広い応募方法を設定している。(稲葉、岡澤) ・結果公表がわかりやすく公開されていた。意見提出ページも同ページに掲載されていた。(稲葉、岡澤) ・意見募集ページに答申へのリンクがあり、関連情報に容易にアクセスできる。(稲葉) ・市の検討結果の公表がやや遅い。(稲葉) ・基準以外の場所でも周知していて、望ましい水準である。(大嶋) ・多くの意見について審議会での協議が必要だった。(岡澤)		
アンケート調査の実施		
評価項目(配点)		実施状況
	実施したアンケート	①第15回住民意識調査 ②高校生世代アンケート調査 ③若い世代アンケート調査
1	事前周知の方法	①②③事前周知:HP、X 実施目的の周知:有
2	調査方法・調査期間	①郵便、WEB調査(無記名式) 令和6年1月12日～令和6年2月2日(22日間) ②③WEB調査(無記名式) 令和6年2月13日～令和6年3月1日(18日間)
3	調査対象	①白井市在住の18歳以上の男女2,500人 ②平成17年(2005年)4月2日から平成20年(2008年)4月1日までに生まれた市民2,166人 ③昭和63年(1988年)4月2日から平成17年(2005年)4月1日までに生まれた市民のうち、無作為に選んだ2,000人
4	発送件数・回収件数・回収率	①発送件数:2,500件 ②発送件数:2,166件 ③発送件数:2,000件 回収件数:1,308件 回収件数:294件 回収件数:426件 回収率:52.3% 回収率:13.6% 回収率:21.3%
5	結果公表・取扱い	①結果公表:令和6年12月22日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館、広報しろい、各センター プライバシーに関わる情報:非公開 審議会等への結果報告:有(資料の配布・説明により報告) ②③結果公表:令和7年1月16日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館、各センター プライバシーに関わる情報:非公開 審議会等への結果報告:有(資料の配布・説明により報告)
コメント		
・若い世代の回収率が低かった。(竹内) ・事前周知にSNSを使用していた点は良かった。(竹内、稲葉) ・複数のアンケートを実施し多面的に意見を集約する姿勢が見られる。(稲葉) ・住民意識調査の回収件数・率が高かった。その他の回収件数・率が低かった点は改善が必要。(吉井、大嶋) ・事前周知が広報、情報公開コーナー、図書館でなされていない。(稲葉、大嶋、吉井、折原) ・住民意識調査で基準にないHPでも公開している。(大嶋) ・結果公表までの期間が短いと望ましい。(折原) ・若い世代の回収率が低い。Webだけでなく郵便も実施したほうが良かった。(岡澤)		

意見交換会の実施

評価項目(配点)		実施状況
1	開催場所・時間・回数	①気軽に本音でSHIROトーク 開催場所:庁舎・保健福祉センター 開催時間・回数:平日日中2回、土日休日2回 ②しろいの未来作戦会議 開催場所:庁舎・保健福祉センター 開催時間・回数:土日休日4回 ③タウンミーティング 開催場所:各センター 開催時間・回数:土日休日6回 ④地区別ワークショップ 開催場所:各センター 開催時間・回数:土日休日6回
2	資料の提供	①③④有、配布 ②無し(チラシ等により周知)
3	参加者の資格	①市内在住者 ②市内在住・在学・在勤の方 小学生(4～6年生)・中学生(1～3年生)・高校生等～35歳 ③市内在住・在学・在勤の方 ④市内在住在勤、市に関わる方全て
4	事前周知の方法	①②③広報しろい、HP、メール配信、LINE ④広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、メール配信、LINE、自治会回覧
5	結果公表・取り扱い	①②③HP、情報公開コーナー(令和6年8月19日) ④HP、情報公開コーナー(令和7年3月25日) 会議録:要点訳

コメント

- ・適切な人数が参加しており、十分な意見交換が行える環境で実施されていた。(竹内、稲葉)
- ・②の会議は市長も参加されて、直接声が届けられた点は素晴らしい。(竹内)
- ・LINE、チラシを使用し、多様な周知方法を実施していた。(稲葉、岡澤)
- ・会議後に会議資料が開示されており、透明性や市民への説明責任を果たしている。(稲葉)
- ・①②③の事前周知、結果公表で情報公開コーナー、図書館が含まれていない。(吉井、大嶋、折原、岡澤)
- ・②の出席者について希望者には資料の配布が望ましい。(大嶋)
- ・各センターでも実施されるとなお望ましい。(折原)
- ・④は条例基準を概ね満たして実施されていた。(岡澤)

住民投票の実施

評価項目(配点)		実施状況
1	開催場所・時間・回数	開催場所:WEB回答 時間帯:平日日中、夜間、土日休日 回数:1回(令和6年11月21日～令和6年12月15日)
2	参加者の資格	委員資格なし
3	事前周知の方法	広報しろい、HP、情報公開コーナー、メール配信、LINE、小中学校へ協力依頼(令和6年11月21日)
4	結果公表・取り扱い	HP(令和6年12月18日)
5	市民参加の内容	総合計画で掲げる将来像について、「循環を継続すること」「新しいことに挑戦すること」「今の良さを守ること」の3つの思いが詰まった将来像を掲げることとし、将来像の候補の中から投票形式で選んでもらった。投票資格は小学校4年生以上の市内在住、在学、在勤及び白井市に関わる全ての方。

コメント

- ・複数案件等について住民投票が行われたことは素晴らしい。(竹内)
- ・LINE等も活用しており、多くの回答が得られていた。(竹内、稲葉)
- ・事前周知、結果公表の場所が基準を満たしていない。(稲葉、大嶋、折原)
- ・資料の公開についてが不明である。(稲葉)
- ・投票結果が公表されている。(稲葉)
- ・ある程度の積極性は感じられるが、より一層の積極的な取組みが求められる。(吉井)
- ・場所・日時にとらわれず市民が気軽に参加できる取組だった。(岡澤)
- ・投票方法がWebだけでなく各センター等への紙ベースも検討したほうが良かった。(岡澤)

7.白井市第3次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業

総合コメント		
【良かった点】 ・総合計画と連動して進められており、効率的である。(竹内、稲葉、折原、岡澤) ・多様な市民参加の手法を導入している。(稲葉) ・アンケート調査のデータを基に課題を把握している点、意見交換会でLINEやチラシでの周知、終了後の資料開示を実施している点は評価できる。(稲葉) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井、増子) ・意見交換会の開催回数は評価できる。(大嶋) ・審議会に36～50歳の比較的若い方を選出していたことは適切だった。(折原) 【改善点】 ・公募委員の割合、各周知、公表にはより積極性が望まれる。(吉井) ・基準を最低限満たし、自己評価の改善点の実行を期待する。(大嶋) ・アンケート調査の回収率が悪かった点については、検証し回収率向上を期待する。(大嶋) ・本事業特有の課題等を把握するための取り組みがあれば良かった。(岡澤)		
市民参加の実施状況		
審議会の設置: 令和6年5月28日～令和7年3月3日、令和7年5月～令和8年2月実施予定 パブリックコメントの募集: 令和8年2月実施予定 アンケート調査の実施: 令和6年1月12日～令和6年3月1日 意見交換会の開催: 令和6年4月25日～令和7年2月9日		
「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)		
審議会の設置		
	評価項目(配点)	実施状況
		任期: 令和5年3月～令和8年3月 募集期間: 令和4年11月1日～令和4年11月16日
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数: 10人(男8女2) 市民公募委員: 2人(うち無作為抽出2人)
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	応募者: 0人(男0女0) 決定者2人(男0女2) 選出地域: 七次台小学校区1人、池の上小学校区1人 選考基準: 公開 応募方法: 郵便、ファクシミリ、電子メール、担当課窓口 周知方法: 広報しろい、HP、各センター
3	会議の回数・時間帯	会議の回数: 3回(すべて公開) 時間帯: 平日日中
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知: HP、情報公開コーナー、図書館 会議終了後の会議資料公開: 有
5	結果公表・取扱い	公表の方法: HP 会議録: 逐語訳 公開に要する期間: 2か月以内
コメント		
・平日開催のため、興味があっても参加できない方がいたのではないかと。(竹内) ・無作為抽出で女性委員が2人参加したのは評価できる。(竹内) ・公募委員募集の周知、会議録の公開場所は条例基準に基づき実施すべき。(稲葉、吉井、大嶋、折原、岡澤) ・委員構成の透明性確保のため名簿公開が望まれる。(稲葉) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井、増子) ・公募委員が2名で割合が低く、性別、年齢に偏りがある。(大嶋、折原、岡澤) ・会議録の公表が1ヶ月以内に実施できると良い。(折原)		

アンケート調査の実施		
評価項目(配点)		実施状況
	実施したアンケート	①第15回住民意識調査 ②高校生世代アンケート調査 ③若い世代アンケート調査
1	事前周知の方法	①②③事前周知:HP、X 実施目的の周知:有
2	調査方法・調査期間	①郵便、WEB調査(無記名式) 令和6年1月12日～令和6年2月2日(22日間) ②③WEB調査(無記名式) 令和6年2月13日～令和6年3月1日(26日間)
3	調査対象	①白井市在住の18歳以上の男女2,500人 ②平成17年(2005年)4月2日から平成20年(2008年)4月1日までに生まれた市民2,166人 ③昭和63年(1988年)4月2日から平成17年(2005年)4月1日までに生まれた市民のうち、無作為に選んだ2,000人
4	発送件数・回収件数・回収率	①発送件数:2,500件 ②発送件数:2,166件 ③発送件数:2,000件 回収件数:1,308件 回収件数:294件 回収件数:426件 回収率:52.3% 回収率:13.6% 回収率:21.3%
5	結果公表・取扱い	①結果公表:令和6年12月22日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館、広報しろい、各センター プライバシーに関わる情報:非公開 ②③結果公表:令和7年1月16日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館、各センター プライバシーに関わる情報:非公開 ①②③審議会等への結果報告:有(資料の配布・説明により報告)
コメント		
・若い世代の回収率が低かった。(竹内) ・事前周知にSNSを使用していた点は良かった。(竹内、稲葉) ・事前周知場所が条例基準を満たしていない。(稲葉、吉井、大嶋、折原) ・複数のアンケートを実施し多面的に意見を集約する姿勢が見られる。(稲葉) ・住民意識調査の回収件数・率が高かったが、その他の回収件数・率が低かった点は改善が必要。(稲葉、吉井、大嶋) ・結果公表までの期間が短いと望ましい。(折原)		
意見交換会		
評価項目(配点)		実施状況
1	開催場所・時間・回数	①気軽に本音でSHIROITーク 開催場所:庁舎・保健福祉センター 開催時間・回数:平日2回、土日休日2回(日中全4回) ②しろいの未来作戦会議 開催場所:庁舎・保健福祉センター 開催時間・回数:土日休日4回 ③タウンミーティング 開催場所:各センター 開催時間・回数:土日休日6回 ④地区別ワークショップ 開催場所:各センター 開催時間・回数:土日休日6回
2	資料の提供	①③④有、配布 ②無し(チラシ等により周知)
3	参加者の資格	①市内在住者 ②市内在住・在学・在勤の方 小学生(4～6年生)・中学生(1～3年生)・高校生等～35歳 ③市内在住・在学・在勤の方 ④市内在住在勤、市に関わる方全て
4	事前周知の方法	①②③広報しろい、HP、メール配信、LINE、チラシによるPRの実施 ④広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、メール配信、LINE、自治会回覧、チラシによるPRの実施
5	結果公表・取り扱い	①②③HP、情報公開コーナー(令和6年8月19日) ④HP、情報公開コーナー(令和7年3月25日) 会議録:要点訳
コメント		
・適切な人数が参加しており、十分な意見交換が行える環境で実施されていた。(竹内、稲葉) ・特に②の会議は市長も参加され、直接声が届けられた点も良いと思う。(竹内) ・他課と連携して多面的な意見を聞けるように多様な意見交換会を開催している。(稲葉) ・LINE、チラシを使用し、多様な周知方法を実施していた。(稲葉、岡澤) ・会議資料が開示されており、透明性や市民への説明責任を果たしている。(稲葉) ・4種類の意見交換会を開催し広く民意を聴取した点は評価できる。(大嶋) ・事前周知、結果公表場所は条例基準を満たしていない。(吉井、大嶋、折原) ・各センターでも開催されることが望ましい。(折原) ・④は条例基準を概ね満たして実施されていた。(岡澤)		

8.(仮称)白井市第2次行政経営指針策定事業

総合コメント		
【良かった点】 ・無作為抽出を使用しながら、バランスの良いメンバー構成となっている。(竹内) ・パブリック・コメントも予定されており、複数の手法を実施する姿勢が見られる。(稲葉) ・審議会が年7回実施されており、毎回傍聴者がいる点は評価できる。(稲葉、大嶋、折原) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井、増子) ・審議会の設置、<u>公募委員の募集は適切。</u>(折原) 【改善点】 ・<u>公募委員の募集は積極的な取り組みを求めたい。</u>(吉井) ・条例基準は最低限満たせると良い。(大嶋、折原)		
市民参加の実施状況		
審議会の設置：令和6年6月27日～令和8年6月26日 パブリックコメントの募集：令和7年6月18日～令和7年7月9日実施予定		
「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)		
審議会の設置		
	評価項目(配点)	実施状況
		任期：令和6年6月～令和9年6月 募集期間：令和6年2月1日～令和6年2月22日
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数：8人(男6女2) 市民公募委員：3人(うち無作為抽出1人)
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	応募者：5人(男4女1) 決定者3人(男1女2) 選出地域：清水口小学校区2人、桜台小学校区1人 選考基準：公開 応募方法：郵便、電子メール、担当課窓口 周知方法：広報しろい、HP、担当課窓口
3	会議の回数・時間帯	会議の回数：7回(すべて公開) 時間帯：平日夜間
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知：HP、情報公開コーナー、図書館、担当課窓口 会議終了後の会議資料公開：有
5	結果公表・取扱い	公表の方法：情報公開コーナー、図書館、HP、担当課窓口 会議録：逐語訳 公開に要する期間：2か月以内、半年以内
コメント		
・委員や傍聴者に配慮し、夜間開催をしている点は評価できる。(竹内) ・学識経験者が入っているので、一般市民が発言しやすいよう配慮があったのかが気がかり。(竹内) ・<u>公募委員の割合が38%となっており、市民参加の機会が確保されている。</u>(稲葉) ・公募委員の周知場所は条例基準に基づき実施すべき。(稲葉、大嶋、折原、岡澤) ・審議会を設置していない自治体も見られる計画で審議会の設置、公募委員の選任を行った点は望ましい取り組み。(稲葉) ・<u>公募委員の募集については少し積極性が欲しい。</u>(吉井) ・公募委員の年齢に偏りがある。(大嶋) ・結果公表をわかりやすくする工夫がされていない。(折原) ・会議録の公表が速やかに実施できると良い。(折原、岡澤)		

9.白井市都市マスタープラン改定事業

総合コメント		
【良かった点】 ・市民の関心が高いと思われる計画であるため、会議開催時間の調整(夜間、休日開催等)が必要ではなかったか。(竹内) ・多様な市民参加の手法を導入している。(稲葉) ・審議会に公募委員も参加しており、女性比率も43%とバランスも良い。(稲葉) ・意見交換会について、他課と連動して進められており、多様なテーマ、適切な人数により議論されている。また、LINEやチラシでの周知、資料開示を実施している点は、市民参加と透明性の確保から有効。(稲葉) ・アンケート調査について、Xも活用し住民意識調査で高い回収率を得ている。(稲葉) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井、増子) ・総合計画と連動して進められており、効率的である。(折原) 【改善点】 ・公募委員の割合が低い(14%)。男性1の応募者が2名いたのに決定者が女性1名、無作為抽出でも女性1名を選出しているのは疑問である。(稲葉、大嶋) ・審議会開催回数が年2回と限られていることは課題。(稲葉) ・事前周知と結果公表はより積極性を求めたい。(吉井) ・条例の基準は最低限満たすべき。(大嶋) ・高校生世代アンケート調査、若い世代アンケート調査の回収率が低いため原因分析と改善に努めてほしい。(大嶋) ・意見交換会について、資料の提供がチラシ等になっているが、希望者には資料を配布すべき。(大嶋) ・意見交換会について、子どもの視点、若者の声を聴くことが目的であるのに、参加者を35歳以下に限定したのに疑問を感じる。(大嶋) ・市民参加の手法は、総合計画策定事業で行った結果が中心のため、本事業特有の課題の取り組みが見えなかったことが残念。(岡澤)		
市民参加の実施状況		
審議会の設置:令和6年10月30日～ パブリックコメントの募集:令和7年9月実施予定 アンケート調査の実施:令和6年1月12日～令和6年3月1日 意見交換会の開催:令和6年4月25日～令和7年2月9日 ワークショップの開催:意見交換会に包含		
「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)		
審議会の設置		
	評価項目(配点)	実施状況
		任期:令和6年1月～令和8年1月 募集期間:令和5年7月15日～令和5年8月4日
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数:14人(男8女6) 市民公募委員:2人(うち無作為抽出1人)
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	応募者:14人(男12女2) 決定者2人(男0女2) 選出地域:第一小学校区2人 選考基準:公開 応募方法:郵便、電子メール、担当課窓口 周知方法:広報しろい、HP、情報公開コーナー、図書館
3	会議の回数・時間帯	会議の回数:2回(すべて公開) 時間帯:平日日中
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知:HP、情報公開コーナー、図書館 会議終了後の会議資料公開:有
5	結果公表・取扱い	公表の方法:情報公開コーナー、図書館、HP 会議録:逐語訳 公開に要する期間:2か月以内
コメント		
・公募委員に12名も応募があったので、どのような広報を行ったのか。(竹内) ・興味がある方が多いため、夜間、休日開催にすると傍聴者が多かったのでは。(竹内) ・公募委員が参加しており、募集の事前周知も適切に実施されており、女性比率が43%でバランスが図られている。(稲葉) ・事前周知と開催記録の公表が条例基準を満たしていないものが散見される。(大嶋) ・公募委員の割合が14%であり望ましい水準と比較すると改善の余地がある。(吉井、稲葉、吉井、岡澤) ・会議開催が年2回であり、やや少ない。(稲葉、岡澤) ・結果公表をわかりやすくする工夫がされていない。(折原) ・会議録の公表が1ヶ月以内に実施できると良い。(折原)		

アンケート調査の実施		
評価項目(配点)		実施状況
	実施したアンケート	①第15回住民意識調査 ②高校生世代アンケート調査 ③若い世代アンケート調査
1	事前周知の方法	①②③事前周知:HP、X 実施目的の周知:有
2	調査方法・調査期間	①郵便、WEB調査(無記名式) 令和6年1月12日～令和6年2月2日(22日間) ②③WEB調査(無記名式) 令和6年2月13日～令和6年3月1日(18日間)
3	調査対象	①白井市在住の18歳以上の男女2,500人 ②平成17年(2005年)4月2日から平成20年(2008年)4月1日までに生まれた市民2,166人 ③昭和63年(1988年)4月2日から平成17年(2005年)4月1日までに生まれた市民のうち、無作為に選んだ2,000人
4	発送件数・回収件数・回収率	①発送件数:2,500件 ②発送件数:2,166件 ③発送件数:2,000件 回収件数:1,308件 回収件数:294件 回収件数:426件 回収率:52.3% 回収率:13.6% 回収率:21.3%
5	結果公表・取扱い	①結果公表:令和6年12月22日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館、広報しろい、各センター プライバシーに関わる情報:非公開 審議会等への結果報告:有(資料の配布・説明により報告) ②③結果公表:令和7年1月16日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館、各センター プライバシーに関わる情報:非公開 審議会等への結果報告:有(資料の配布・説明により報告)
コメント		
・若い世代の回収率が低かった。(竹内) ・事前周知にSNSを使用していた点は良かった。(竹内、稲葉) ・事前周知が広報、情報公開コーナー、図書館で行われていない。(稲葉、大嶋、吉井、折原) ・複数のアンケートを実施し多面的に意見を把握する姿勢が見られる。(稲葉) ・住民意識調査の回収件数・率が高かった。その他の回収件数・率が低かった点は改善が必要。(稲葉、吉井、大嶋) ・結果公表までの期間が短いと望ましい。(折原) ・若い世代の回収率が低い。Webだけでなく郵便も実施したほうが良かった。(岡澤)		
意見交換会の実施		
評価項目(配点)		実施状況
1	開催場所・時間・回数	①気軽に本音でSHIROITーク 開催場所:庁舎・保健福祉センター 開催時間・回数:平日日中2回、土日休日2回 ②しろいの未来作戦会議 開催場所:庁舎・保健福祉センター 開催時間・回数:土日休日 4回 ③タウンミーティング 開催場所:各センター 開催時間・回数:土日休日 6回 ④地区別ワークショップ 開催場所:各センター 開催時間・回数:土日休日 6回
2	資料の提供	①③④有り(配布) ②無し(チラシ等による周知)
3	参加者の資格	①市内在住者 ②市内在住・在学・在勤の方 小学生(4～6年生)・中学生(1～3年生)・高校生等～35歳 ③市内在住・在学・在勤の方 ④市内在住在勤、市に関わる方全て
4	事前周知の方法	①②③広報しろい、HP、メール配信、LINE、チラシによるPRの実施 ④広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、メール配信、LINE、自治会回覧、チラシによるPRの実施
5	結果公表・取扱い	①②③HP、情報公開コーナー(令和6年8月19日) ④HP、情報公開コーナー(令和7年3月25日) 会議録:要点訳
コメント		
・適切な人数が参加しており、十分な意見交換が行える環境で実施されていた。(竹内、稲葉) ・②の会議は市長も参加されて、直接声が届けられた点は素晴らしい。(竹内) ・LINE、チラシを使用し、多様な周知方法を実施していた。(稲葉、岡澤) ・会議資料が開示されており、透明性や市民への説明責任を果たしている。(稲葉) ・事前周知と結果公表はより一層の取り組みが求められる。(吉井) ・①②③の事前周知、結果公表について、情報公開コーナー、図書館が含まれていない。(大嶋、折原、岡澤) ・②の出席者には希望者への資料配布が望ましい。(大嶋) ・各センターでも実施されることが望ましい。(折原) ・④は条例基準を概ね満たして実施されていた。(岡澤)		

10.(仮称)景観とみどりの基本計画策定事業

総合コメント		
【良かった点】 ・多様かつ、柔軟な方法で意見を集約し専門的な観点から取りまとめを実施している構造は評価できる。(竹内、稲葉、岡澤) ・審議会は公募委員は含まない理由が明確に示され、周知や会議録公開も適切に実施されている。(稲葉) ・アンケート調査期間が十分確保され、Web回答導入で回収率も39.6%と望ましい水準を超えている。(稲葉) ・ワークショップは小学生未満の参加も認めており、デジタルサイネージ、ポスターなど多様な周知方法が用いられ世代を超えた参加が可能としている。(稲葉) ・キックオフシンポジウムについて、有識者のパネルディスカッションを通じて理解を深め、出席者アンケートで意見を収集するなど双方向の市民参加が実践されている。(稲葉) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井、増子) ・ワークショップを6回開催し様々な意見を聴収できたこと、キックオフシンポジウムも意義があったと考える。(折原) ・キックオフシンポジウムは積極的な市民参加ではないが、計画の内容や課題を把握できる機会だと思われる。(岡澤) 【改善点】 ・専門家だけでなく、一般市民も参加することでより柔軟にできたのではないか。(竹内) ・アンケートの対象者の26%が事業者であるなら39.6%の回収率は低いと感じる。(大嶋) ・審議会委員の専門委員について、選出理由を明確にすべき。(大嶋) ・自己評価の改善点について、原因究明し実行を期待する。(大嶋) ・アンケートの周知、結果公表場所が条例基準を満たしていない。(吉井、折原) ・アンケート調査について、市民と事業者の対象ごとに回収率を分けたほうが市民の参加状況がわかりやすい。(岡澤) ・パブリック・コメント事前周知、わかりやすい資料の提供、条例基準に沿った結果公表をすべき。(岡澤)		
市民参加の実施状況		
審議会の設置: 令和6年1月29日～令和6年11月14日、令和7年7月11日実施予定 パブリックコメントの募集: 令和8年5月実施予定 アンケート調査の実施: 令和6年5月17日～令和6年6月7日 ワークショップの開催: 令和6年12月21日～令和7年1月11日 キックオフシンポジウム: 令和6年9月28日		
「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)		
審議会の設置		
	評価項目(配点)	実施状況
		任期: 令和6年4月～
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数: 8人(男6女2) 市民公募委員: 0人(うち無作為抽出0人)
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	公募無し(都市計画審議会の部会の位置づけで、より専門分野に特化し議論を行うため) 選考基準: 無し
3	会議の回数・時間帯	会議の回数: 2回(すべて公開) 時間帯: 平日日中
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知: 広報しろい、HP、情報公開コーナー、図書館 会議終了後の会議資料公開: 有
5	結果公表・取扱い	公表の方法: 情報公開コーナー、図書館、HP 会議録: 逐語訳 公開に要する期間: 2か月以内
コメント		
・一般市民を含めるという選択肢もあったのではないか。(竹内、岡澤) ・他の手法を反映させる際に公募委員が含まれていたほうが良い面もある。(竹内) ・公募委員を含まない理由が明確にされており、基準に則った対応である。(稲葉、折原) ・周知、会議録の公開も条例基準に従い適切に実施されている。(稲葉) ・会議資料が、市民や関係者にわかりやすく開示されている。(稲葉) ・委員構成について、4名の専門委員の基準が不明であるので明確にすべき。(大嶋) ・会議録の公表が1ヶ月以内に実施できると良い。(折原) ・結果公表の形式を一層わかりやすくすることが求められる。(折原)		

アンケート調査の実施		
評価項目(配点)		実施状況
	実施したアンケート	景観・みどりに関する市民アンケート調査
1	事前周知の方法	事前周知:広報しろい 実施目的の周知:有
2	調査方法・調査期間	①郵便、WEB調査(無記名式) 令和6年5月17日～令和6年6月7日(22日間)
3	調査対象	白井市民(18歳以上)2,000人、事業所 600箇所
4	発送件数・回収件数・回収率	発送件数:2,600件 回収件数:1,029件 回収率:39.6%
5	結果公表・取扱い	結果公表:令和6年11月14日 公表の方法:HP プライバシーに関わる情報:非公開 審議会等への結果報告:有(資料の配布・説明により報告)
コメント		
・妥当な内容であったと思う。SNSを使用することで回収率が高くなったのではないか。(竹内) ・事前周知について、情報公開コーナー、図書館で実施されていない。(稲葉、大嶋、吉井、折原、岡澤) ・実施期間が十分設けられ、Web回答の導入により回答率を高める工夫がなされている。(稲葉) ・審議会への報告は、アンケート結果を踏まえた議論の場とすることでより実効性のある市民参加につながる。(稲葉) ・アンケートの対象者の26%が事業者であるのであれば39.6%は回収率が低いと感じる。(大嶋) ・事前周知、結果公表についてより一層の積極性が期待される。(吉井、折原) ・Webと郵便(督促はがき)を併用することで回答の選択肢が広まったと思われる。(岡澤)		
ワークショップの開催		
評価項目(配点)		実施状況
1	開催場所・時間・回数	開催場所:各センター 開催時間・回数:土日休日 5回
2	資料の提供	有(配布)
3	参加者の資格	有(小学校3年生以上、小学校3年生未満の子どもについては保護者同伴であること。)
4	事前周知の方法	広報しろい、HP、各センター、図書館、担当課窓口、メール配信、デジタルサイネージ、ポスター・チラシによるPRの実施
5	結果公表・取扱い	公表の方法:HP(令和7年4月28日) 会議録:要点記
コメント		
・大変興味深い内容のワークショップである。(竹内) ・小学校3年生未満の子ども保護者同伴で対象にしており、世代を広く対象としている面白い取り組みである。(稲葉) ・周知方法としてデジタルサイネージを導入している点は工夫がみられる。(稲葉、折原、岡澤) ・事前周知、開催記録の公表場所が条例基準を満たしていない。(大嶋、吉井、折原、岡澤) ・6回にわたり開催され、地域ごとに様々な意見を収集した点は評価する。(大嶋、折原)		
その他の方法(キックオフシンポジウム)		
評価項目(配点)		実施状況
1	開催場所・時間・回数	開催場所:白井市文化会館 時間帯:土日休日 1回
2	参加者の資格	無(身近なまちの景観やみどり、今後の白井のまちづくりに興味のある市民、事業者等)
3	事前周知の方法	広報しろい、HP、各センター、図書館、担当課窓口、メール配信、X、市LINE(令和6年9月1日)
4	結果公表・取扱い	公開の方法:HP、景観とみどり部会資料(令和6年11月14日) 開催記録の内容:要点記
5	市民参加の内容	学識による講演のほか、市民活動団体による市内の取組の紹介、市外の取組事例の紹介、市の今後の取組についてのパネルディスカッション
コメント		
・様々なツールを使用して事前周知ができたことは評価できる。(竹内) ・事前周知、結果公表場所が条例基準を満たしていない。満たさないのであれば、HPで公表していることの周知等が必要。(稲葉、吉井、大嶋、岡澤) ・有識者によるパネルディスカッションを通じて市民に事業内容を理解しやすいような工夫がされている。(稲葉) ・シンポジウム出席者へのアンケートを実施し、市民の意見を直接収集している。(稲葉) ・参加者の内訳は不明だが参加人数は評価できる。(大嶋) ・市民参加にとって意義のあるものと考えます。(折原) ・良い取り組みであり、結果公表にも一層の積極性が期待されます。(折原)		

11.白井市地域公共交通計画策定事業

総合コメント		
【良かった点】 - アンケート調査をバス停で実施した点は、素晴らしい。(竹内) - 今後の実施予定も含め複数の手法で構成されている点は高く評価できる。(稲葉) - アンケート調査の実施期間は36日間と十分確保され、回収率は53.2%と望ましい基準を上回った。(稲葉) - 条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井、増子) - アンケート調査により市民の意見を聴取する取り組みは良かった。(岡澤) 【改善点】 - アンケート調査の事前周知をしなかった理由を明確にすべき。(稲葉、吉井、大嶋、岡澤) - 審議会へのアンケート調査結果も報告だけでなく議論に活用することが望ましい。(稲葉) - 公募委員募集の周知場所が条例基準を満たしていない。(稲葉、大嶋、折原) - 議事録の公開は速やかに行うべき。(大嶋) - パブリックコメントやワークショップで、今後市民の意見が積極的に収集されることに期待する。(折原) - パブリックコメントの予定時期について、年末年始を避けるべき。(岡澤)		
市民参加の実施状況		
審議会の設置: 令和6年7月10日～ パブリックコメントの募集: 令和7年12月22日～令和8年1月4日実施予定 アンケート調査の実施: 令和6年12月20日～令和7年1月24日 ワークショップの開催: 令和7年7月26日～令和7年8月3日		
「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)		
審議会の設置		
	評価項目(配点)	実施状況
		任期: 令和4年10月～令和7年10月 募集期間: 令和4年7月1日～令和4年7月15日
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数: 24人(男19女5) 市民公募委員: 2人(うち無作為抽出1人)
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	応募者: 4人(男2女2) 決定者2人(男0女2) 選出地域: 大門口小学校区1人、桜台小学校区1人 選考基準: 非公開(審議会等の設置及び委員の選任に関する要綱に基づくため) 応募方法: 郵便、ファクシミリ、電子メール、担当課窓口 周知方法: 広報しろい、HP、各センター、担当課窓口
3	会議の回数・時間帯	会議の回数: 2回(すべて公開) 時間帯: 平日日中
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知: HP、情報公開コーナー、図書館、議会事務局掲示板 会議終了後の会議資料公開: 有
5	結果公表・取扱い	公表の方法: HP、情報公開コーナー、図書館 会議録: 逐語訳 公開に要する期間: 半年以内に公開
コメント		
- 委員数24名の内、公募委員(2名)の比率を増やしても良かった。無作為抽出で女性委員を選任した点は良かった。(竹内、吉井、大嶋、折原、岡澤) - 委員数が多く、市外委員が10名である点が特徴的である。(稲葉) - 公募委員募集の周知場所が条例基準を満たしていない。(稲葉、折原、折原) - 審議会に毎回5名以上の傍聴者が参加しており市民参加が機能している。(稲葉) - 会議録の公開時期(半年以内)が遅い。(大嶋、折原) - 資料がわかりやすく整理、公表されていた。(岡澤)		

アンケート調査の実施		
評価項目(配点)		実施状況
	実施したアンケート	白井市公共交通に関する市民アンケート
1	事前周知の方法	事前周知:無し 実施目的の周知:無し
2	調査方法・調査期間	郵便、WEB調査、バス停での配布(無記名式) 令和6年12月20日～令和7年1月24日(36日間)
3	調査対象	15歳以上の市民及びナッシー号利用者
4	発送件数・回収件数・回収率	①発送件数:2,380件 回収件数:1,266件 回収率:53.2%
5	結果公表・取扱い	結果公表:令和7年7月31日(公表予定) 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館 プライバシーに関わる情報:非公開 審議会等への結果報告:有(資料の配布・説明により報告)
コメント		
・実施時期に配慮(年末年始以外に実施)してほしい。(竹内) ・配布を交通の現場で行っており、高く評価できる。回収率も高い。(竹内) ・実施期間は36日間と十分確保され、回収率は53.2%と望ましい基準を上回った。(稲葉) ・事前周知をしなかった理由を明確にすべき。(稲葉、吉井、大嶋、岡澤) ・アンケートの趣旨から、進め方に問題はないと考えます。(折原) ・結果公表について、一層積極的な公表手段を用いることが期待されます。(折原) ・協議会で報告されたアンケート結果(中間報告)はわかりやすくまとめられていた。(岡澤) ・公表予定が令和7年7月31日となっているがHPで確認できなかった。(岡澤)		

12.地域福祉計画策定事業

総合コメント		
【良かった点】 ・地域で取り組んでいる団体や通いの場を実施している。団体へのヒアリング等も行くと良かった。（竹内） ・アンケート結果を踏まえた意見交換会が実施され市民参加が確保されている点は望ましい。（稲葉） ・アンケート調査について、実施期間が十分に確保され、市民が回答しやすい環境が整っていた。（稲葉） ・条例基準を概ね満たして実施されていた。（吉井、増子） 【改善点】 ・アンケートの事前周知が「無」とされている点は確認が必要。（稲葉） ・アンケートの事前周知と審議会委員公募掲載場所について、条例基準を満たしていない。（稲葉、吉井、折原） ・アンケートの回収率は及第点だが、向上を期待したい。（大嶋） ・今後パブリックコメントやワークショップで市民の意見が積極的に収集されることを期待します。（折原、岡澤） ・パブリックコメントの実施期間は十分な期間を設定をされるよう検討していただきたい。（岡澤）		
市民参加の実施状況		
審議会の設置：令和6年4月1日～令和7年3月31日、令和7年4月1日～令和8年3月31日実施予定 パブリックコメントの実施：令和7年12月実施予定 ワークショップの開催：令和7年4月19日～令和7年4月27日実施予定 アンケート調査の実施：令和6年12月9日～令和7年1月6日		
「市民参加の手続き」の評価（手法ごと）		
審議会の設置		
	評価項目（配点）	実施状況
		任期：令和6年10月～令和9年9月 募集期間：令和6年6月17日～令和6年7月5日
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数：15人（男7女8） 市民公募委員：3人（うち無作為抽出1人）
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	応募者：2人（男1女1） 決定者3人（男1女2） 選出地域：大山口小学校区1人、池の上小学校区1人、桜台小学校区1人 選考基準：公開 応募方法：郵便、電子メール、担当課窓口 周知方法：広報しろい、HP、担当課窓口、メール配信
3	会議の回数・時間帯	会議の回数：3回（すべて公開） 時間帯：平日日中
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知：HP、情報公開コーナー、図書館 会議終了後の会議資料公開：有
5	結果公表・取扱い	公表の方法：HP、情報公開コーナー、図書館 会議録：要点訳 公開に要する期間：2か月以内
コメント		
・無作為抽出で若い女性が参加されていることは評価できる。（竹内） ・公募委員募集の事前周知が条例基準を満たしていない。（稲葉、吉井、大嶋、折原、岡澤） ・会議の事前周知、会議録公開が条例基準を満たしている。（稲葉） ・年齢構成は基準を満たしている。（大嶋） ・市民感覚が大切な事業だが、公募委員の割合が少ない。無作為抽出を増やす等工夫が必要。（岡澤、折原）		

アンケート調査の実施		
評価項目(配点)		実施状況
	実施したアンケート	白井市地域福祉に関するアンケート調査
1	事前周知の方法	事前周知:HP、担当課窓口 実施目的の周知:有
2	調査方法・調査期間	郵便、WEB調査(無記名式) 令和6年12月9日～令和7年1月6日(29日間)
3	調査対象	市内在住の18歳以上の方
4	発送件数・回収件数・回収率	発送件数:1,500件 回収件数:647件 回収率:43.1%
5	結果公表・取扱い	結果公表:令和7年3月26日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館 プライバシーに関わる情報:非公開 審議会等への結果報告:有(資料の配布・説明に加え議論を行った)
コメント		
・実施時期に配慮(年末年始以外に実施)してほしい。(竹内) ・事前周知が「無」とされている点は改善が必要。(稲葉) ・事前周知掲載場所が条例基準を満たしていない。(稲葉、吉井、大嶋、折原、岡澤) ・アンケート結果について、資料の配布、説明にとどまらず、審議会で議論されており実効性が確保されている。(稲葉、岡澤) ・アンケートの回収率の基準はないが、良い方だと判断する。(大嶋) ・より回収率向上を図る工夫が必要である。(大嶋、岡澤)		

13.白井市第2次産業振興ビジョン(仮称)策定事業

総合コメント		
【良かった点】 - アンケート調査の結果がわかりやすくまとめられていた。また、審議会で説明・議論もされており、結果公表時期も早かった点は評価できる。(竹内、稲葉、岡澤) - 会議の事前周知、会議録の公開場所は条例基準を満たしている。(稲葉) - SNSを活用した周知は高く評価できる。(稲葉) - 条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井、増子) - 審議会の開催回数は妥当。(折原) - アンケートを3種類実施した点は良かった。(折原) 【改善点】 - 事業者からのアンケート回収率を高める工夫が必要だった。(竹内) - 公募委員募集、アンケートの事前周知場所が条例基準を満たしていない。(稲葉、大嶋、折原) - 商・工業者向けアンケートの回収率が低かった要因分析について庁内への情報共有や回収率向上の取り組みが必要。(稲葉、折原、岡澤) - インタビュー調査の対象者がアンケート回答者だとしても公表はすべき。また、委託事業者が計画策定のソースとして実施したものであっても、記録や公表が無かった点は疑問。(大嶋) - 公募委員は意欲をもって応募する市民の増加が望まれる。(岡澤)		
市民参加の実施状況		
審議会の設置: 令和5年5月9日～令和8年8月31日 アンケート調査の実施: 令和6年10月21日～令和6年11月18日 (市民向け、農業関係者向け、商・工業者向けの三つを実施) パブリックコメントの実施: 令和7年10月実施予定 アンケート調査回答者へのインタビュー調査: 令和6年12月20日～令和7年1月31日		
「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)		
審議会の設置		
	評価項目(配点)	実施状況
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数: 15人(男12女3) 市民公募委員: 3人(うち無作為抽出2人)
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	応募者: 5人(男5女0) 決定者3人(男1女2) 選出地域: 第一小学校区1人、清水口小学校区1人、七次台小学校区1人 選考基準: 公開 応募方法: 郵便、担当課窓口 周知方法: 広報しろい、HP
3	会議の回数・時間帯	会議の回数: 3回(すべて公開) 時間帯: 平日日中
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知: 広報しろい、HP、情報公開コーナー、図書館 会議終了後の会議資料公開: 有
5	結果公表・取扱い	公表の方法: HP、情報公開コーナー、図書館 会議録: 逐語訳 公開に要する期間: 1か月以内
コメント		
- 比較的専門的な内容であるが、公募数も多く、市民の関心が高いことが伺えた。(竹内) - 無作為抽出で公募委員2名を選任している点は評価できる。(竹内) - 公募委員募集の事前周知掲載場所について、条例基準を満たしていない。(稲葉、吉井、大嶋、折原) - 会議の事前周知、会議録の公開場所は条例基準を満たしており、公開も早い。(稲葉、岡澤) - アンケートの設計、結果について審議会で議論されており、市民意見を反映させる仕組みができている。(稲葉) - 公募委員応募者5名の内決定者1名、無作為抽出2名が66歳以上の女性で偏りがあり、理由も不明。(大嶋) - 会議録をわかりやすく公表する工夫が実施されていない。(折原) - 公募委員の割合が低い。募集方法も多くの手段で実施するべき。(折原、岡澤)		

アンケート調査の実施				
評価項目(配点)		実施状況		
	実施したアンケート	産業振興ビジョン策定に向けたアンケート調査 ①市民向け ②農業関係者向け ③商・工業者向け		
1	事前周知の方法	①②③事前周知: 広報しろい、HP、市SNS 実施目的の周知: 有		
2	調査方法・調査期間	①②③郵便、WEB調査(記名式) 令和6年10月21日～令和6年11月18日(28日間)		
3	調査対象	①市民800名(外国籍除く)を白井市の人口割合より算出し無作為に抽出 ②農業基本台帳に記載されている492件から抽出。また、法人登録されている農業者を追加。 ③法人市民税台帳に記載されている中から、事業業種別での割合より算出し、無作為に抽出		
4	発送件数・回収件数・回収率	①発送件数:800件 ②発送件数:100件 ③発送件数:800件 回収件数:358件 回収件数:39件 回収件数:117件 回収率:45% 回収率:39% 回収率:16%		
5	結果公表・取扱い	①②③結果公表: 令和6年12月16日 公表の方法: 情報公開コーナー、HP プライバシーに関わる情報: 非公開 審議会等への結果報告: 有 (資料の配布・説明に加え議論を行った)		
コメント				
・実施方法や時期は妥当であった。(竹内) ・商・工業者向けアンケートの回収率が低い。庁内への原因周知、回収率向上の取り組みが必要。(竹内、稲葉、折原、岡澤) ・SNSを活用した周知は高く評価できる。(稲葉) ・事前周知場所が条例基準を満たしていない。(吉井、大嶋、折原) ・発送件数に関する基準、取り決めが必要。(大嶋) ・結果公表がわかりやすくまとめられていた。(岡澤)				
その他の方法(アンケート調査回答者へのインタビュー調査)			10点満点	10点満点
評価項目(配点)		実施状況	条例基準	望ましい水準
1	開催場所・時間・回数	開催場所: 無し(連絡のみ) 時間帯: 平日日中		
2	参加者の資格	有り(アンケート回答者へのインタビューのため)		
3	事前周知の方法	無し(アンケート回答者のうち、特性のある回答者(個人、事業者)へ直接連絡を行い、インタビュー依頼を行った。)		
4	結果公表・取扱い	無し(アンケート回答者に対する個別インタビューのため、結果の公開はしていない。)		
5	市民参加の内容	事業者が抱える課題の把握並びに市の取組方針を整理するために、インタビュー調査を実施した。ヒアリングにあたっては、アンケート調査の回答内容を基に対象を選定し、回答内容の背景や理由、具体例などの深掘りを行った。		
コメント				
・素晴らしい取り組みではあるが、回答者をどのように選定したのかが疑問。(竹内、稲葉) ・結果が非公開とされているが、どのように反映されたか不明。(稲葉) ・事前周知と結果の公表について、条例基準を満たしていない。(大嶋、折原) ・調査対象者がアンケート回答者だとしても公表はすべきである。また、委託事業者が計画策定のソースとして実施したものであっても、記録や公表が無かった点は疑問。(大嶋) ・回答者に対する個別インタビューであるため結果公表は難しいものと判断する。(折原) ・条例基準に馴染まない手法だが、アンケート結果を補完する取り組みだった。(岡澤)				

14.(仮称)白井市男女共同参画計画策定事業

総合コメント		
【良かった点】 ・審議会の公募委員が38%で女性比率も62%と高い。(稲葉) ・アンケート調査について、条例基準に則り実施され、中学2年生向けの回収率が81.1%と高い。また、Web調査の導入により、回答しやすい工夫が見られた。(稲葉) ・パブリックコメントに対する市の考え方を公表していた点は良かった。(稲葉) ・ワークショップはポスターやチラシ等、複数の手段で周知が実施され、市民意見を収集する機会となっている。(稲葉) ・条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井、増子) ・審議会の開催回数は妥当。(折原) ・アンケートを3種類実施し、様々な角度から収集した点は良かった。特に中学2年生向けに実施したことは、世代間の意識の差を理解できる点で良い取り組みだった。(竹内、折原、岡澤) ・アンケート調査について、一般市民と事業者向けに督促はがきを送付して回収率増加の工夫を実施していた。(岡澤) ・ワークショップは公表された内容が具体的市民の感想、課題が明確になっていた。(岡澤) 【改善点】 ・中学2年生向けアンケート調査の実施期間が8日間で短い。また、中学2年生を対象とした理由が不明。(稲葉) ・アンケートの結果公表はもう少し早く出すべき。(吉井) ・公募委員の募集の周知掲載場所に図書館が含まれていない。(稲葉、大嶋) ・ワークショップの開催数の増、参加しやすい開催場所の検討がされると良かった。(岡澤) ・パブリックコメントの実施予定は年末年始を避ける、又は十分な期間の設定を検討してほしい。(岡澤)		
市民参加の実施状況		
審議会の設置: 令和6年9月17日～ パブリックコメントの募集: 令和7年12月～令和8年1月実施予定 アンケート調査の実施: 令和6年11月15日～令和6年12月21日 ワークショップの開催: 令和7年1月26日		
「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)		
審議会の設置		
	評価項目(配点)	実施状況
		任期: 令和4年8月～令和7年7月 募集期間: 令和4年4月1日～令和4年5月6日
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数: 13人(男5女8) 市民公募委員: 6人(うち無作為抽出3人) ※公募委員1人中途辞退
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	応募者: 7人(男4女3) 決定者6人(男3女3) 選出地域: 第一小学校区2人、清水口小学校区1人、南山小学校区2人、桜台小学校区1人 選考基準: 公開 応募方法: 郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口 周知方法: 広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、担当課窓口
3	会議の回数・時間帯	会議の回数: 2回(すべて公開) 時間帯: 平日日中
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知: 広報しろい、HP、情報公開コーナー、図書館、議会事務局前の掲示板 会議終了後の会議資料公開: 有
5	結果公表・取扱い	公表の方法: HP、情報公開コーナー、図書館 会議録: 逐語訳 公開に要する期間: 半年以内
コメント		
・公募委員の応募が多数あり、無作為抽出も3名入っており、若手も多く比較的バランスが良い。(竹内、稲葉) ・重要な議題についての会議は、平日日中だけでなく夜間、休日開催も考えられる。(竹内) ・公募委員募集の周知掲載場所の工夫はされているが、図書館が含まれていない。(稲葉、大嶋、折原) ・公募委員の割合が38%で女性比率も62%と高い。(稲葉) ・会議録の公表が半年以内となっている。結果公表はもう少し早く出すべき。(吉井、大嶋、折原、岡澤) ・会議録の公表を一層わかりやすくする工夫が期待される。(折原)		

アンケート調査の実施		
評価項目(配点)		実施状況
	実施したアンケート	白井市男女共同参画に関するアンケート調査 ①一般市民調査 ②在勤者 ③中学2年生
1	事前周知の方法	事前周知 ①③広報しろい、HP、情報公開コーナー、図書館 ②広報しろい、HP、情報公開コーナー、図書館、企業への直接通知 実施目的の周知:①②③有
2	調査方法・調査期間	①②郵便、WEB調査(無記名式) 令和6年11月15日～令和6年12月6日(21日間) ③WEB調査(無記名式) 令和6年12月13日～令和6年12月21日(8日間)
3	調査対象	①市内在住の満18歳以上2,000人 ②市内在勤者500人(250社) ③白井市立中学校2年生655人
4	発送件数・回収件数・回収率	①発送件数:2,000件 ②発送件数:500件 ③件数:655件 回収件数:950件 回収件数:230件 回収件数:531件 回収率:47.5% 回収率:46.0% 回収率:81.1%
5	結果公表・取扱い	①②③結果公表:令和7年6月12日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館 プライバシーに関わる情報:非公開 審議会等への結果報告:有(資料の配布・説明により報告)
コメント		
・時期、回収率、対象は妥当である。(竹内) ・子どもたちに対して実施しており、若い層の声を吸い上げられたことは評価できる。(竹内) ・条例基準に則って実施されているが中学2年生向けアンケートの実施期間は8日間と短い。また、対象を中学2年生に限定した理由が読み取れない。(稲葉) ・中学2年生向けアンケートについて、回収率が81.1%と高く、Web調査の導入により、回答しやすい工夫が見られた。(稲葉) ・調査内容は審議会に報告、説明だけでなく議論することが望ましい。(稲葉) ・結果公表はもう少し早く出すべき。(吉井、岡澤) ・50%以下の回収率が2種類あり、更なる回収率向上を期待する。(大嶋) ・3種類実施し、様々な角度から収集した点は良かった。調査対象に中学生を加えたことは良かった。(折原、岡澤) ・結果報告はわかりやすくまとめられていた。(岡澤)		
ワークショップの開催		
評価項目(配点)		実施状況
1	開催場所・時間・回数	「性別に関係なく、誰もが自分らしく輝ける社会」の実現に向けた課題と取り組み 開催場所:庁舎・保健福祉センター 開催時間・回数:土日休日1回
2	資料の提供	有(配布)
3	参加者の資格	無し(様々な世代の意見を伺うため)
4	事前周知の方法	広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、 担当課窓口、メール配信、ポスター・チラシによるPRの実施
5	結果公表・取扱い	HP、情報公開コーナー、図書館(令和7年6月12日) 会議録:要点訳
コメント		
・1回の実施だと参加者が少ないため、同じプログラムで複数回実施することも有効であると考えられる。(竹内) ・<u>参加者が11名だったため、複数回実施又は参加者を増やしたほうが良かった。(竹内、折原)</u> ・<u>ポスターやチラシ等、複数の手段で周知が実施され、市民意見を収集する機会となっている。(稲葉、岡澤)</u> ・結果公表が4ヶ月半後である。1ヶ月以内が望ましい。(吉井、大嶋、岡澤) ・ワークショップ終了後に意見を受けても良かったのでは。(折原) ・会議録がわかりやすくまとめられていた。(岡澤)		

15.(仮称)障害者計画策定事業

総合コメント		
【良かった点】 - 様々な参加手法を組み合わせており、利害関係者の意見も吸い上げている点は、評価できる。(竹内) 公募委員の割合が20%で女性比率は53%でありバランスは良い。(稲葉) - アンケートの回収率が54.9%と非常に高くWeb調査の導入で回答しやすい環境が整えられていた。(稲葉) - アンケート結果は配布、説明に加えて審議会で議論されており実効性が確保されている。(稲葉) - ヒアリングの実施により、具体的な意見が収集されており、価値ある取り組みといえる。(稲葉) - 条例基準を概ね満たして実施されていた。(吉井、増子) - アンケートを3種類実施しており、様々な角度や若い世代から情報収集を行っている点は良かった。(折原、岡澤) - 音声付き会議録を公表しているが積極的な周知を実施しているのか不明。(岡澤) 【改善点】 - 審議会開催、会議録公開の周知場所が条例基準を満たしていない。また、アンケート実施場所、ヒアリングの事前周知場所も条例基準を満たしていない。(稲葉、大嶋) 公募委員が全員男性で年齢にも偏りがある。(大嶋) - ヒアリングシートの配布団体数が不明。(大嶋) - 審議会の開催数(2回)が少ない。(折原) - 回収率の内訳を公表してほしい。(折原) - パブリックコメントは年末年始を避けるか、十分な期間を設けてほしい。(岡澤) - 自己評価が記載されていると良かった。(岡澤)		
市民参加の実施状況		
審議会の設置: 令和6年11月15日～令和8年3月31日 パブリックコメントの募集: 令和7年12月～令和8年1月実施予定 アンケート調査の実施: 令和6年12月23日～令和7年1月17日 聞き取り(ヒアリング)調査: 令和6年3月19日～令和7年4月11日		
「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)		
審議会の設置		
	評価項目(配点)	実施状況
		任期: 令和6年11月～令和8年3月 募集期間: 令和6年7月11日～令和6年8月2日(22日)
1	公募委員の数・全体に占める割合	委員の人数: 15人(男7女8) 市民公募委員: 3人(うち無作為抽出1人)
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法	応募者: 8人(男7女1) 決定者3人(男3女0) 選出地域: 池の上小学校区3人 選考基準: 公開 応募方法: 郵便、電子メール、担当課窓口 周知方法: 広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、白井市公式SNS、白井市公式YouTube
3	会議の回数・時間帯	会議の回数: 2回(すべて公開) 時間帯: 平日日中
4	事前周知の方法・会議の公開等	事前周知: HP、図書館 会議終了後の会議資料公開: 有
5	結果公表・取扱い	公表の方法: 情報公開コーナー、HP 会議録: 逐語訳 公開に要する期間: 1か月以内
コメント		
- 公募委員の応募者が多くあり、関心の高さが伺えた。(竹内) - 会議開催周知、会議録の公開場所が条例基準を満たしていない。(稲葉、大嶋、吉井、折原) - 事前周知でSNS、YouTubeを活用している。(竹内、稲葉) - アンケート調査の内容や結果が議論されており、市民参加が確保されている。(稲葉) 公募委員の割合が20%だが、委員全体の女性の割合が53%でバランスは取れている(稲葉) 公募委員が全員男性で年齢にも偏りがある。(大嶋) - 審議会の開催数(2回)が少ない。(折原) - 事前周知はより多くの方法で実施されることを期待する。(折原) - 会議録の公開が早い。ユニバーサル視点から音声会議録の公開は良かった。(岡澤)		

アンケート調査の実施		
評価項目(配点)		実施状況
	実施したアンケート	白井市福祉に関するアンケート調査
1	事前周知の方法	事前周知:HP、情報公開コーナー、図書館 実施目的の周知:有
2	調査方法・調査期間	郵便、WEB調査(無記名式) 令和6年12月23日～令和7年1月17日(26日間)
3	調査対象	①障がい当事者(各障害者手帳所持者) ②障害者手帳を所持しない市民 ③市内公立中学校に通学する中学2年生全員
4	発送件数・回収件数・回収率	発送件数:3,154件 回収件数:1,732件 回収率:54.9%
5	結果公表・取扱い	結果公表:令和7年7月(公表予定) 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館 プライバシーに関わる情報:非公開 審議会等への結果報告:有(資料の配布・説明に加え議論を行った)
コメント		
・年末年始を含んでいるが、時期をずらすことはできなかったのか。(竹内、大嶋) ・多様な層にアプローチされていた。(竹内) ・回収率は54.9%と非常に高く、十分な成果が得られている。(稲葉) ・Web調査を導入し、回答しやすい環境を整えている。(稲葉) ・事前周知掲載に広報しろいが含まれていない。(大嶋、折原) ・アンケートを3種類実施しており、様々な角度や若い世代から情報収集を行っている点は良かった。(折原、岡澤) ・回収件数、回収率は、調査対象ごとに公開したほうが良い。(岡澤)		
聞き取り(ヒアリング)調査		
評価項目(配点)		実施状況
1	開催場所・時間・回数	開催場所:未定 時間帯:平日日中 回数:未定
2	参加者の資格	市内で活動している障がい者団体等(委員資格なし)
3	事前周知の方法	HP、依頼文書の送付(令和7年3月19日)
4	結果公表・取扱い	未定
5	市民参加の内容	市内で活動している障がい者団体等に、ヒアリングシートを配布。 また、その中で対面での聞き取り(ヒアリング)が可能と回答した団体を対象として、聞き取り(ヒアリング)調査を実施。
コメント		
・課題の吸い上げが行える現場であることから、大変重要な取組みである。(竹内) ・対象の選定基準や選定団体を公表してほしい。(竹内、稲葉、大嶋) ・ヒアリングを実施したことで、計画の策定に必要な具体的な意見が収集されている。(稲葉) ・事前周知掲載場所が条例基準を満たしていない。(大嶋) ・ヒアリング調査を今後の計画策定にどう生かすかが重要。(折原) ・条例基準に当てはまりにくい手法だが、必要な手法であるとする。(岡澤)		

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑤ 白井市第3次教育大綱策定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子	吉井 信行		大嶋 信太郎		
総合コメント	審議会、パブリックコメントに加えて、意見交換会を数回開催したことが高く評価できる。他方、せっかくの意見交換かいの内容がどのように政策に反映されているのかが不明確である。		審議会が構成について、委員4名が教育委員が重要だ。事前の周知や役割分担に一定の合理性があるものと感じています。今後さらに多様な経験が豊富になるのではないかと感じました。市民公募による委員の参加も検討されると、より広がりのある議論が可能になるのではないかと感じました。パブリックコメントについては、随時誰でも意見入力フォームが閲覧できるため、どのような形式で意見を述べていたのかが把握できておりません。公開されている資料から推察すると、教育大綱策定の内容をよく理解しに意見を寄せているものと思われます。その一方で、役員の経験や役割がやや偏っており、結果を導きやすい可能性もあり。結果として意見の偏出が懸念されたのではないかと感じました。今度は、市民がより気軽に参加しやすい工夫があるか、より多様な委員の役割につながるのではないかと感じます。「しろいの未来戦略会議」は、市民の役割の広いや委員会が1年間に実施されており、非常に意図深い取り組みだと感じました。こうしたプロセスで得られた意見や提議が、今後の教育大綱の策定に実質的に反映されていくことを期待しております。		法律上の規定に沿っているとは言え、公募委員を採用しないなど民意の反映（市民参加）についても取り組みが強くないと感じる。		審議会が総合教育会議として開催されており、審議会委員以外の出席者が多く、市長をはじめとして発言している。この会議をこの事業の審議会と位置づけたことに疑問を感じる。この事業に関する審議会とするなら審議会委員を広く市民（市民以外の有識者含む）から募るべきと考ええる。第1回会議でワークショップ、アンケートでの意見を大綱策に入れたと言っているが、アンケート集、ワークショップ（意見交換）の参加者（意見を述べることできる範囲）は、35歳以下としているが目的は子どもの視点、若者の意見としておりこの年齢設定に疑問を感じる。35歳までとするのなら36歳以上で小中学生の親はいるし、36歳以上の方々の子供の未来をどのように考えているかを聞くことも、話し合うことも大切であると考ええる。「しろいの未来戦略会議」は、良い意見交換の場となったが、これを良しとせず参加構成も見直して自己評価の反省点をこれからの事業展開に反映させることを期待する。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	教育委員会による構成であることから公募委員が入っていないものの、昨今の状況を鑑みると、こういう検討に市民感覚を取り入れること自体が必要なのではないかと考えられる。	基準	・会議への出席委員（4名）と出席職員（10名/8名）の位置づけの差いをご教示ください。 ・2回の会議とも傍聴者数が0であることへの分析をお聞かせください。	基準	「事前周知」や「検討結果公表」などに対する取り組みをもっと強めるべき。	基準	総合教育会議を諮問会議としており、審議会委員と称する教育委員4名を委員以外の出席者が多く、審議会とした意図が解らない。議事録を読むと委員の発言より市長をはじめ委員以外の発言が多いように感じた。2回の会議記録は適切だったのが疑問である。
	水準		水準	・市民参加として審議会を構成する場合、市民公募委員も選任してもよいのではないのでしょうか（市民公募委員は、技術的・専門的な審議会は30%以上であることが望ましいため）。審議会と白井市総合教育会議の位置づけについてご教示ください。	水準	上記と同じ	水準	広く民意を反映させる委員の選出が望ましい。
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	パブリックコメントに関する問い合わせがあったことから、関心のある方には届いている点は評価できる。意見が出なくても問題は無いと思う。一方で閲覧件数が0件と低いため、これをさらに多くの方に見ていただける検討することが必要である。	基準	・郵送方法について、幅広い応募方法を設定している（Webフォームサイト（クwestant）など）。 ・募集期間は十分に設定されている（望ましい水準が3週間のこと4週間程度）。 ・令和7年1月、2月、3月、4月の応募しづらいを確認しましたが、パブリックコメントの事前周知の努力を見られるところだと感じました。どのような告知が行われていますか。	基準	概ね良好だが、結果公表での取り組みが弱い。	基準	募集期間としては、3週間を超えているが、その間に大型連休が入っている。募集期間・時期への配慮が必要と考ええる。また、意見の件数が0件でも結果は公表すべきである。
	水準		水準	・パブリックコメントへの意見が0件だったことについてどのように分析されていますか。	水準	上記と同じ	水準	パブリックコメントを広く公募する努力が不足している。自己評価の今後の実行を期待する。
意見交換会の開催	基準	多くの方が集まっていたよかった。LINEでも広報をしたとのことであったが、集まった人たちのきつかけについて調べていたが覚えていたにたさい。結果は審議会に報告されているため、その点は評価できる。	基準	・開催場所、時間、回数や参加者の対象、事前周知、結果公表と取扱いは、すべて適切に行われている。	基準	取組が弱く、より強い積極性を求めたい。	基準	チラシ等により周知し、出席者への資料が無かったとのことに疑問を感じる。対象者を限定（～35歳）は、広く民意を聴くことにはならない。
	水準		水準	・アンケートは読みすぎばいい。 ・4回にわたっての開催で、毎回10名以上参加している。 ・結果報告のレポートがわかりやすくまとめられて、公開されている。 ・市民参加の取組として行われた本会議はどのように今後の展開に反映されていますでしょうか。	水準	上記に同じ	水準	資料提供を望む方々には、提供する選択権が必要である。36歳以上の方々のことでも未来をどのように考えているかを聞く、話し合うことも必要である。

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑥ 白井市第3次教育大綱策定事業

委員氏名			折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文	
総合コメント			・審議会は、教育委員会による構成のため、市民公募委員はなしとなっており、まだパブコメも0件でありました。もっとも、そのかわりに市民に意見を広く集めることを目的とし、「しろいの未来作戦会議」という意見交換会を開催したことは、大変意義があったものと考えます。将来的にはこのようなテーマの審議会にも、公募委員の参加を募ることが出来るようになると良いと思います。		子どもや若い世代が意見を述べる機会を設定されたことは良かったと思います。一方、教育大綱は学校教育だけではなく、社会教育の視点も必要かと思えます。パブリックコメントで意見を提出するのは、市民からするとハードルが高く、中高年世代も意見交換会の対象として、意見聴取することも必要ではないでしょうか。		今後住みやすい白井市にするための市民参加意見交換会「しろいの未来作戦会議」の開催で多くの意見が得られたのは大変興味深いと思う。今後も継続し、意見交換会の開催で市民の声を集めていただきたい。	
手法ごとの評価			評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置			基準	・審議会の2回というのは、このテーマとして妥当なのでしょうか。	基準	教育総合会議を置き換えているので、条例基準では評価しにくい。	基準	条例基準通り
			水準	・審議会メンバーに公募者がいないことは、将来的に検討課題であると思います。	水準	会議の事前周知は各センターやLINE等の方法も検討されると良いと思います。また、会議録の公表が、ホームページのみとなっていますが、そのことを周知する工夫が必要だと思います。	水準	市民公募委員の増員
パブリックコメント (意見公募)募集			基準	・意見の件数の予想が出来ないので難しいとは思いますが、検討結果の公表予定時期もあらかじめ公表したほうが、意見が多く集まると考えます。	基準	Webフォームサイトという新しいツールの活用が良かった。	基準	条例基準通り
			水準	・意見を多く集める工夫として、条例の概要版は提示されたほうが良いと思います。	水準	概要版の作成があれば、内容への理解が進み。意見提出につながるきっかけになったと思います。	水準	意見の件数の増加
意見交換会の開催			基準	・チェック表で評価するときのような取手になりますが、参加者に対して市民参加のマインドを深く植え付けるためには、当日のファシリテーションが重要であったと考えます。	基準	子どもの視点からの意見聴取は良かった。一方、若い世代だけではなく、これまでの白井市を作ってきた中高年世代の意見聴取も必要ではないかと思っています。	基準	条例基準通り
			水準	・事前周知方法についてはどのように行われたのでしょうか。	水準	小・中学生を対象とした意見聴取は、身近なセンターで開催するなどの工夫があると良いと思いました。	水準	参加者の増員

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑥ 白井市第6次総合計画策定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎	
総合コメント	「しろいの未来作戦会議」や「第6次総合計画基本構想（案）に掲げる将来像の投票」など、市民意見を集める様々な取り組みをされていた。他の市でも参考になるような取り組みであると考えられる。		第6次総合計画策定事業では、多様な市民参加の手法が導入され、幅広い層から意見を集めようとする姿勢が伺われ、全体として評価できます。 意見交換会は他課との連携のもと適切な人数で実施され、LINEやチラシによる周知、会議資料の開示など、市民参加の環境整備が工夫されています。 アンケート調査では、住民意識調査においてWEB回答を導入し回収率52.3%と高い成果を上げたことが印象的です。一方で、高校生や若い世代アンケートの回収率が比較的低い点については、今後の改善に向けた分析が期待されます。 パブリックコメントは28日間実施され、WEBフォームによる提出が可能となり利便性が高められていました。意見募集から市の考え方の公表まで一定の期間を要していましたが、今後さらに工夫されることで市民へのフィードバックが充実すると考えます。 住民投票については3,780票が集まり将来像が選定されました。なぜ対象を小学4年生以上としたのか、また市民がどのような資料に基づいて投票を行ったのかをご教示ください。		概ね積極的に取り組まれているが「意見交換会の実施」と「住民投票の実施」についてはより一層の積極さが求められる。		色々な手段を用いて民意に耳を傾けようと努力したことは高く評価する。また、パブリックコメントが35件（12人）あり、内12件が修正意見として基本構想に反映することができたことを評価する。事前周知や公表場所に関しては、基準を満たしていないケースがあったが基準を最低限として改善していただきたい。改善点で記載されたことが今後実行されることを期待する。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	条例基準は満たしている。開催頻度も適切であると考えられる。	基準	・審議委員の人数は適切であり、公募委員の参画が確保されている。 ・市民公募の周知について、条例基準では「情報公開コーナー」および「図書館」での情報公開が求められている。	基準	概ね積極的に取り組まれている。	基準	公募委員募集の周知場所に基準にある情報公開コーナー、図書館が含まれていない。かた、会議録の公表場所に情報コーナー、図書館が含まれていない。
	水準	他の市民参加のルートで集約された意見も議論されており、大変良い形だと考えられる。	水準	・開催期間・開催間隔は適切で、傍聴者が参加しやすい時間帯に設定されている。 ・公募委員募集時にLINEを活用している。	水準	上記に同じ	水準	基準を最低限としより多くの手段を用いて周知すべきと考える。
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	年末の繁忙期に開始しているため、1月に入ってから周知した方が良かったのではないかと考えられる。ただ、35件集まっているので、特に問題がなかったとも考えられる。	基準	・意見募集期間については、条例基準で求められている2週間以上に対し、28日間実施されており、十分な期間が確保されている。 ・応募方法としてWebフォームサイト（クエスタント）が導入され、その結果12名から35件の意見が寄せられており、多様な意見を収集する工夫が見られる。	基準	概ね積極的に取り組まれている。	基準	基準を満たしているとともに、基準以外の場所で周知している。
	水準	策定まで時間があることから、しっかりと計画に反映することもできていて良い形だと考えられる。	水準	・基本構想（案案）と付属資料（データ）が分かりやすい形で公開されており、意見提出フォームも同じページに掲載されているため、市民が提出しやすい環境が整えられている。 ・意見募集のページに「白井市第6次総合計画基本構想の各申」へのリンクが設置され、関連情報に簡単にアクセスできる。 ・提出された意見に対する市の考え方の公表については、令和7年1月22日に意見を募集し、3月4日の審議会で議論を経て、5月1日に公表されており、やや時間を要している印象がある。	水準	上記に同じ	水準	望ましい水準であると考える。
アンケート調査の実施	基準	若い世代の回収率が低かったため、学校への協力要請などがあったのが質問させていただきたい。受験や期末試験等と被ってしまったのかどうかとも確認していただきたい。	基準	・アンケートの実施にあたっては、広報しろい・情報公開コーナー・図書館でも事前周知が必要となっている。 ・SNSのX（旧Twitter）を活用した点は、市民への新しい情報発信手段である。 ・複数の種類のアンケートを実施しており、多面的に市民意見を把握しようとする姿勢が見られる。	基準	概ね積極的に取り組まれているが、「事前周知」の取り組みが弱いのと回収率の低さは問題。	基準	3つの調査とも事前周知場所に基準にある広報白井、情報公開コーナー、図書館が含まれていない。第15回住民意識調査結果の公表場所に基準にない広報しろいが含まれている。調査の回収件数・率に関しては、第15回住民意識調査は満足行くものだと判断するが、他の2件に関しては、満足な結果とは言えないと考える。
	水準	事前周知においてSNSも活用されており、良いと考えられる。	水準	・「第15回住民意識調査」ではWEB回答が導入され、回収率が52.3%と高水準である。 一方で、「高校生世代アンケート調査」や「若い世代アンケート調査」でもWEB回答が導入されていますが、回収率はそれぞれ13.6%、21.3%にとどまっています。これをどのように分析されますでしょうか。	水準	上記に同じ	水準	基準を満たさないものは、最低限基準を満たすべきと考える。満足な結果と言えないと判断して調査に関しては、回収率を上げる方策を考えていただきたい。
意見交換会の開催	基準	問題なく実施されていた。人数も集まっていたようで素晴らしい。	基準	・他の課とも連携して、多面的な意見を聞けるように多様な意見交換会を実施している。 ・各会で話し合うのに適切な人数が集まっており、参加者同士の意見交換が十分に行える環境が整えられている。	基準	概ね積極的に取り組まれているが、「事前周知の方法」と「結果公表」についてはより一層の取り組みが求められる。	基準	各交換会共に場所、回数、時間帯ともに基準を満たしていると考える。しろいの未来作戦会議の出席者への資料提供はチラシ等により周知としている。気軽に本音でS・H・O・トーク、しろい未来作戦会議ともに事前周知場所に基準にある図書館が含まれていない。また、結果の公表では、各交換会共に基準で定める図書館が含まれていない。
	水準	大変素晴らしい活動であると考えられる。特に多くの若手が集まった会議には、市長も参加され、直接声が届けられた点も良いと思う。	水準	・周知の方法としてLINEを活用し、幅広い層への参加を促している。 ・チラシによるPRも併用しており、情報伝達手段を多様化している。 ・意見交換会後には会議資料が開示されており、透明性の確保や市民への説明責任を果たしている。	水準	上記に同じ	水準	しろいの未来作戦会議の出席者への資料提供には、希望者への配布が望ましいと考える。基準は最低限満たすべきと考える。
その他の方法	基準	住民投票という形で、総合計画の複数案件等が行われたことは素晴らしい。投票フォームを見ることができなかったが、わかりやすい情報提供が行われていたかだけが気になった。	基準	・投票対象者を「小学4年生以上」とした理由は何でしょうか。 ・事前周知については、条例基準に基づき図書館での実施が必要である。 ・検討に必要な資料が開示されていたかどうかか図書館からは読み取れませんでした。（チェックが入っていませんでした）	基準	ある程度の積極性は感じられる。	基準	事前周知、結果の公表場所共に基準を満たしていない。
	水準	LINEなども活用されていて、多くの回答が集まって良かった。（目標回答数などがあったのであれば、教えていただきたい）	水準	・事前周知の方法としてLINEや小中学校への協力依頼を行っており、幅広い世代への周知に努めている。 ・投票結果として3,780票が集まり、『世代を超えた 笑顔と豊かさを 未来へつなぐまち』が最多選民となり、その理由が公表されている。 ・市民が何を根拠に選択したのか、具体的にどのような説明資料が開示されていたのか、また選ばれた内容が最終的に計画にどのように反映されるのかをご教示ください。	水準	今後は一層の積極的な取り組みが求められる。	水準	基準は最低限満たすべきと考える。

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑥ 白井市第6次総合計画策定事業

委員氏名	折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文	
総合コメント	審議会の7回開催は妥当と思います。 市民参加の手法として「審議会」「パブリックコメント」「アンケート」「意見交換会」「住民投票」の様々な方法を用い、さらに「アンケート」「意見交換会」については、それぞれ対象を分けて実施しており、積極的に市民の声を集めようとする姿勢は評価できるものと考えます。もっとも、「高校生世代」「若い世代」の回収率が低いことが気になります。 「地区別ワークショップ」にて、行政任せでなく自分たちや地域で取り組むべきことに対するアイデアがたくさん出たとの記載がありますが、「8. 自己評価」の【改善点】にありますように、市民ファシリテーターへのレクチャーへのご苦労があったものと推察します。		さまざまな市民参加の手法が用いられていました。 アンケート調査における高校生や若い世代を対象にしたことや、しろういの未来作戦会議における小・中・高校生の参加により、これからのまちづくりを進めるうえで、効果的な取り組みであったと思いますし、担当課だけではなく、関係各課との連携にはご努力があったと思われます。 一方、自己評価で記載されたように、意見交換会では、対象や内容など重複していることもあり、より効果的な取り組みの検討が必要か思います。		概ね良好に実施されている。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	公募委員の周知が図書館でされていません。会議録をわかりやすく作成する工夫があると良いと考えます。	基準	市民公募の方法にLINEを使用したことで、より多くの市民に周知されたと思いますが、図書館や情報公開コーナーでの周知がありませんでした。 また、会議録の公表もHPのみでした。	基準	概ね良好に実施されている。
	水準	会議録を1カ月以内で公開できると良いと考えます。	水準	結果公表がHPのみなので、例えば、LINEで公表場所を周知するなどの工夫があると良かったです。	水準	
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	特に問題はないと考えます。	基準	意見提出にWebフォームサイトを取り入れたことで、多くの選択肢が示されたことは、良かったと思います。 公表結果は分かりやすくまとめられていました。	基準	概ね良好に実施されている。
	水準	特に問題はないと考えます。	水準	審議会に結果報告はされていましたが、多くの意見への対応については、審議会での協議などが必要であったと思います。	水準	
アンケート 調査の実施	基準	事前周知が、広報しろうい、情報公開コーナー、図書館でされていません。	基準	結果公表は、いずれも条例基準に沿って実施されていました。	基準	良好と思う。
	水準	事前周知について、一層積極的にされたほうがなお望ましいと考えます。結果公表までの期間が少し短かったほうがなお望ましいと考えます。	水準	高校生と若い世代の回収率が低い。Web回答だけでなく、住民意識調査と同様に郵便も含めた回答方法を示した方が、回収率のUPにつながったのではないかと思います。	水準	
意見交換会の開催	基準	事前周知が、情報公開コーナー、図書館でされていません。結果公表が図書館でされていません。	基準	④地区別ワークショップは、概ね基準にそって行われていた。	基準	良好と思う。
	水準	意見交換会が各センターで実施されると、なお望ましいと考えます。	水準	①～③については、LINEやメール配信を使用した事前周知は評価できます 結果公表先については、①～④共通して限定的であり、市民への周知の工夫が必要であると思います。	水準	
その他の方法	基準	事前周知が図書館でされていません。結果公表が情報公開コーナー、図書館でされていません。	基準	場所や日時にとらわれず市民が気軽に参加できる取り組みであったと思います。	基準	良好と思われる。
	水準	特に問題はないと考えます。	水準	投票方法が資料を見る限りでは、Web上からの投票だけのようです。各センターや図書館などでの紙ベースの投票が検討されたのでしょうか。	水準	

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑦ 白井市第3次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎	
総合コメント	総合計画と連動して進められており、効率的である。		白井市第3次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業における市民参加については、審議会が白井市第6次総合計画策定事業とは独立して実施されている一方で、意見交換会やアンケート調査は総合計画策定事業と合同で行われている点が特徴的です。市民参加の機会を重ねる中で、効率性と一貫性を確保していることは評価できます。「ただし、同事業の位置づけや役割の違いを詳細には確認していないため、意見交換会やアンケート調査で得られた市民の声が、それぞれ総合計画と創生戦略にどのように反映されているのか、今後の議論の中で具体的にお聞きしたいと考えます。」市民参加の多様な手法が積極的に導入されていることは高く評価できます。住民意識調査や若い世代へのアンケート調査が行われ、データを基に課題を把握しようとしている点、意見交換会ではLINEやチャットの周知や終了後の資料開示に努めている点などは、市民の参加と理解を深める有効な取り組みと考えます。		概ね妥当な取り組みが行われているが「公募委員」についての取組、各「周知」、「公表」等については、より一層の積極さが求められる。		意見交換会を多く開催し民意を聴くことに努力したことを評価する。基準を最低限満たすとともに、自己評価での改善点の実行を期待する。アンケート調査に関しては、回収率がなぜ悪かったのかを検証し回収率向上を図ることを期待する。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	おそらく興味のある方もいらっしゃる中で、平日開催のため、参加できなかった方もいらっしゃるのではないかと。	基準	・市民公募委員募集の周知については、条例基準に基づき情報公開コーナーおよび図書館での情報開示が求められる。 ・会議録の公開についても、同様に情報公開コーナーや図書館での開示が必要とされている。	基準	概ね妥当な取組みが行われている。	基準	公募委員が2名ではあるが性別、年齢に偏りがある。公募の周知、会議事録の公表場所に基準で定められている図書館が含まれていない。
	水準	無作為で女性2名が入ったのは評価できる。	水準	・審議会の委員名簿が公開されていないため、総合計画の委員との重複があるのかどうかなど、市民や外部から判断できません。委員構成の透明性を確保するためにも、名簿の公開が望まれます。	水準	「公募委員」についての「取組」と各「周知」、「公表」などへのより一層の積極性が望まれる。	水準	基準に最低限準ずることが必要であると考ええる。
アンケート調査の実施	基準	若い世代の回収率が低かったため、学校への協力要請などがあったのか質問させていただきたい。受験や期末試験等と被ってしまったのかどうかなども確認していただきたい。	基準	・アンケートの実施にあたっては、広報しるい・情報公開コーナー・図書館でも事前周知が必要となっている。 ・SNSのX（旧Twitter）を活用した点は、市民への新しい情報発信手段である。 ・複数の種類のアンケートを実施しており、多面的に市民意見を把握しようとする姿勢が見られる。	基準	概ね妥当な取組みがなされているが、「事前周知」にはより積極的な取り組みが望ましい。	基準	3種類の調査を実施したようだが、事前周知場所に基準で定める広報しるい、情報公開コーナー、図書館が含まれていない。高校世代アンケート調査並びに若い世代アンケート調査の回収率が低い。
	水準	事前周知においてSNSも活用されており、良いと考えられる。	水準	・「第15回住民意識調査」ではWEB回答が導入され、回収率が52.3%と高水準である。 ・一方で、「高校生世代アンケート調査」や「若い世代アンケート調査」でもWEB回答が導入されていますが、回収率はそれぞれ13.6%、21.3%にとどまっています。これをどのように分析されますでしょうか。	水準	上記に同じ。	水準	基準に最低限準ずることが必要であると考ええる。アンケート調査の回収率向上に務めていただきたい。
意見交換会の開催	基準	問題なく実施されていた。人数も集まっていたようで素晴らしい。	基準	・他の課とも連携して、多面的な意見を聞けるように多様な意見交換会を実施している。 ・各会で話し合うのに適切な人数が集まっており、参加者同士の意見交換が十分に行える環境が整えられている。	基準	概ね妥当な取組みがなされているが、「事前周知」「結果公表」にはより積極的な取り組みが望ましい。	基準	4種類の意見交換会を開催し広く民意を聴くことに努力したことは評価する。しかし、交換会の事前通知場所に地域別ワークショップを除いては、基準で定める情報公開コーナー、図書館が含まれていない。また、開催記録の公表場所にいずれの交換会も図書館が含まれていない。
	水準	大変素晴らしい活動であると考えられる。特に多くの若手が集まった会議には、市長も参加され、直接声が届けられた点も良いと思う。	水準	・周知の方法としてLINEを活用し、幅広い層への参加を促している。 ・チャットによるPRも併用しており、情報伝達手段を多様化している。 ・意見交換会後には会議資料が開示されており、透明性の確保や市民への説明責任を果たしている。	水準	より積極的な取り組みを求めたい。	水準	基準に最低限準ずることが必要であると考ええる。

第7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑦ 白井市第3次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業

委員氏名	折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文	
総合コメント	審議会委員の公募の周知が「情報公開コーナー」で実施されていません。審議会の3回開催は妥当と思います。「アンケート」「意見交換会」については、「白井市第6次総合計画策定事業」と共同で効率的に実施しています。また、審議会の公募委員に36-50歳の比較的若い方が選出されていることも、「デジタル田園都市国家構想」、「人口ビジョン」などの議題を議論するには適切であると考えます。		第6次総合計画策定事業と同時並行で進められたので、一貫性がありました。一方、今後パブリックコメントの実施を予定されていますが、本事業特有の課題や推進方策を明らかにするための独自の取り組みの必要性はなかったのか疑問を感じました。		良好に実施されている。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	事前周知が情報公開コーナー、図書館でされていません。結果公表が図書館でされておらず、またわかりやすくするための工夫がされていません。	基準	公募委員の割合が少ないと感じられました。事前周知や会議録の公表は、情報公開コーナーや図書館で行われていませんでした。	基準	良好と思う。
	水準	公募委員の割合が低いと考えます。会議録の公表が1カ月以内にされると良いと考えます。	水準	会議録の公表がHPのみなので、そのことを周知する取り組みがあったら良かったと思います。	水準	
アンケート調査の実施	基準	事前周知が広報しろい、情報公開コーナー、図書館でされていません。	基準	結果公表は、いずれも条例基準に沿って実施されていました。	基準	良好に実施されている。
	水準	結果公表までの時間を短縮すべきであったと考えます。	水準	高校生と若い世代の回収率が低い。Web回答だけでなく、住民意識調査と同様に郵便も含めた回答方法を示した方が、回収率のUPにつながったのではないかと思います。	水準	
意見交換会の開催	基準	事前周知が情報公開コーナー、図書館でされていません。結果公表が図書館でされていません。	基準	④地区別ワークショップは、概ね基準にそって行われていた。	基準	良好と思う。
	水準	各センターで実施するなどの工夫があると良かったと考えます。	水準	①～③については、LINEやメール配信を使用した事前周知は評価できます。	水準	

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑧ （仮称）白井市第2次行政経営指針策定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎	
総合コメント	無作為抽出の仕組みも使いながら、バランスの良いメンバー構成となっている。学識経験者が多いことから、公募市民や無作為抽出の市民の方が安心して発言できるようになっていたけると良いと思った。		白井市第2次行政経営指針の策定にあたっては、今後パブリックコメントも予定されており、複数の市民参加の手法を実施しようとする姿勢が見られます。審議会は1年間に7回開催され、毎回傍聴者が参加している点も評価できます。市民参加の幅を広げ、透明性を高めようとする取組は、本計画の実効性と市民の理解促進につながるものと考えられます。		概ね妥当な取り組みが行われているが「公募委員」の募集についてはより積極的な取組みを求めたい。		審美会を9か月の間に7回開催し議論したことを評価する。基準は最低限満たすべきと考える。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	無作為や若い方、学識経験者をメンバーとすることから、夜間開催をしており、傍聴者も含めて参加しやすい区になっている点は評価できる。	基準	・公募委員の割合が38%となっており、市民参加の機会が確保されている。 ・公募委員募集の周知方法については、条例基準に基づき情報公開コーナーおよび図書館での情報開示が必要とされている。	基準	概ね妥当な取組みがなされている。	基準	公募委員の年齢に偏りがある。公募周知場所に基準で定める情報開示コーナー、図書館が含まれていない。
	水準	市民が無作為で入ったことは評価できるが、学識経験者とともに入っていることから、発言できるような配慮がなされているかが気になった。	水準	自己評価にあるように、本計画は「行財政改革」に関するものであり、他の自治体では審議会自体を設置していない事例も見られます。その中で、白井市が審議会を設置し、市民委員を公募していることは、市民参加を重視した望ましい取組といえます。	水準	上記に同じだが、「公募委員の募集」についてはもう少しの積極性が欲しかった。	水準	基準は最低限満たすべきと考える。

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑧ (仮称)白井市第2次行政経営指針策定事業

委員氏名	折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文	
総合コメント	審議会委員の公募の周知が「情報公開コーナー」で実施されていません。審議会の7回開催は妥当と思います。「8. 自己評価」に記載のありますように、審議会を設置し、さらに市民委員を公募した点は適切であったと考えます。もっとも、「行政経営指針」という理解しにくい（取っつきにくい）テーマであるが故、ハブリックコメントの結果についてご教示ください。		意欲的に審議会が開催され、協議が進められていると思いました。また、今回審議会に市民委員を加えたことで、市民がより市の事業への興味やかかわりの推進のきっかけになったと思います。		良好に実施された。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	事前周知が広報しろい、情報公開コーナー、図書館でされていません。結果公表をわかりやすくするための工夫がされていません。	基準	市民公募の事前周知方法で、情報公開コーナー及び図書館では行われなかった。	基準	良好と思われる。
	水準	会議録の公表が1カ月以内にされると良いと考えます。	水準	定期的に審議会が開催されているが、会議録の公開が速やかに行われると良かったと思います。	水準	

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号㊫ 白井市都市マスタープラン改定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎	
総合コメント	市民にとって関心が比較的高い計画策定であると考えられることから、会議時間の調整も必要ではなかったか。重要な会議の日だけでも、夜間、休日に開催するなどの工夫もできるのではないか。		白井市都市マスタープラン改定事業における市民参加については、審議会・意見交換会・アンケート調査と多様な手法が導入されており、一定の成果が見られます。審議会では公募委員が参加し、事前周知も適切に行われ、女性比率も43%とバランスが図られている点は評価できます。ただし、公募委員の割合は14%にとどまり、望ましい基準と比べ改善の余地があり、開催回数が年間2回に限られている点も今後の課題です。意見交換会は他課と連携して多様なテーマで実施され、適切な人数による議論、LINEやチラシによる周知、資料公開などが行われており、参加と透明性の確保に有効です。アンケート調査では広報媒体に加えメも活用され、住民意識調査で高い回収率を得る一方、若い世代調査では回収率が低く、分析と改善が期待されます。審議会は独立して議論されていますが、意見交換会やアンケート調査は他事業と合同で実施されており、これらの結果が都市マスタープラン改定事業にどのように反映されるのか注目されます。		概ね妥当に取り組まれているが、「事前周知の方法」と「結果公表」についてはより強い積極性を求めたい。		基準は、最低限満たすべきと考える。公募委員は、委員14名に対して2名であり少なく、また公募委員の応募者に男性が12名いるにも関わらず、決定者が女性1名、無作為でも女性を1名選出していることから会議で民意が反映されたか疑問を感じる。改めるべきと判断する。アンケート調査に関しては、高校生世代アンケート調査、若い世代アンケート調査が回収率が低く原因究明と改善に努めていただきたい。調査方法にWEB調査とあるが、どのようなものが教えていただきたい。しろういの未来作戦会議では、出席者への資料の提供がチラシ等となっているが、希望者には適切な資料を配布すべきと考える。また、この会議では、子どもの視点、若者の生の意見を聴くことを目的としていながら対象者を35歳までとしたことに疑問を感じる。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	12人も公募があったのは、本計画に興味を持っている方がたくさんいらっしゃる証である。どのような広報を行ったのかが気になった。	基準	・公募委員が参加しており、募集の事前周知も適切に行われている。 ・委員の女性比率が43%であり、一定のバランスが図られている。	基準	概ね妥当な取組まれている。	基準	事前周知、開催記録の公表に関しては、基準を満たしていないものが散見される。
	水準	これだけ興味のある方が多いため、夜や休日開催にすると傍聴者が増えるのではないかと思った。	水準	・公募委員の割合は14%にとどまっており、望ましい基準である「技術的・専門的な審議会では30%程度」「市民感覚を重視する審議会では50%程度」と比較すると、改善の余地がある。 ・会議の開催が年間2回であり、開催頻度が増えることが期待される。 ・自己評価に「会議中の審議のみでなく、会長の研究室に何度も足を運び調整を図った」と記載されていますが、具体的にどのような調整が行われたのかご教示ください。 ・アンケートの実施にあたっては、広報しろうい・情報公開コーナー・図書館でも事前周知が必要となっている。 ・SNSのX（旧Twitter）を活用した点は、市民への新しい情報発信手段である。 ・複数の種類のアンケートを実施しており、多面的に市民意見を把握しようとする姿勢が見られる。	水準	上記に同じだが、「公募委員」については増員が望ましい。	水準	基準は最低限満たすべきと考える。
アンケート調査の実施	基準	若い世代の回収率が低かったため、学校への協力要請などがあったのか質問させていただきたい。受験や期末試験等と被ってしまったのかどうかなども確認していただきたい。	基準	・「第15回住民意識調査」ではWEB回答が導入され、回収率が52.3%と高水準である。 ・一方で、「高校生世代アンケート調査」や「若い世代アンケート調査」でもWEB回答が導入されていますが、回収率はそれぞれ13.6%、21.3%にとどまっています。これをどのように分析されますでしょうか。	基準	概ね妥当な取組なされている。	基準	3つのアンケートともに事前周知において基準の広報しろうい、情報開示コーナー、図書館が含まれていない。高校生世代アンケート調査、若い世代アンケート調査では、回収率が低いと感じる。
	水準	事前周知においてSNSも活用されており、良いと考えられる。	水準	・他 の課とも連携して、多面的な意見を聞けるように多様な意見交換会を実施している。 ・各会で話し合うのに適切な人数が集まっており、参加者同士の意見交換が十分に行える環境が整えられている。	水準	ほぼ上記に同じだが、「事前周知」については取り組みが弱い。	水準	基準は最低限満たすべきと考える。アンケート調査に関しては、回収率向上に努めていただきたい。
意見交換会の開催	基準	問題なく実施されていた。人数も集まっていたようで素晴らしい。	基準	・周知の方法としてLINEを活用し、幅広い層への参加を促している。 ・チラシによるPRも併用しており、情報伝達手段を多様化している。 ・意見交換会後には会議資料が開示されており、透明性の確保や市民への説明責任を果たしている。	基準	概ね妥当に取り組まれているが、「事前周知の方法」と「結果公表」についてはもう一歩の積極性が欲しい。	基準	4種類の意見交換会を開催し広く民意を聴くことに努力したことは評価する。しかし、交換会の事前通知場所に地域別ワークショップを除いては、基準で定める情報公開コーナー、図書館が含まれていない。また、開催記録の公表場所にいずれの交換会も図書館が含まれていない。
	水準	大変素晴らしい活動であると考えられる。特に多くの若手が集まった会議には、市長も参加され、直接声が届けられた点も良いと思う。	水準		水準	より強い取り組みを求めたい。	水準	基準に最低限準することが必要であると考える。

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑨ 白井市都市マスタープラン改定事業

委員氏名	折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文	
総合コメント	「アンケート」「意見交換会」については、「白井市第6次総合計画策定事業」と共同で効率的に実施しています。「その他の方法」にあります白井市商工会、一般社団法人白井工業団地協議会、白井市農業委員会の理事会等における意見徴収で、様々な意見が出されたものと期待します。		総合計画の目指す将来像との整合性を図るため、関係課との調整を図るなどご努力されたことと思います。一方、令和6年度に実施した市民参加の手法は、第6次総合計画策定事業で行った結果が中心のため、本事業特有の課題を明らかにするための取り組みが見えなかったことは残念です。		良好に実施されている。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	結果公表をわかりやすくするための工夫がされていません。	基準	公募委員の割合が低いと感じられます。	基準	良好
	水準	会議録の公表が1カ月以内にされると良いと考えます。	水準	アンケートや意見交換会の実施など事業内容と比べると審議会の開催間隔や回数が少ないと思われる。	水準	
アンケート調査の実施	基準	事前周知が広報しろい、情報公開コーナー、図書館でされていません。	基準	結果公表は、いずれも条例基準に沿って実施されていました。	基準	
	水準	結果公表までの時間を短縮すべきであったと考えます。	水準	高校生と若い世代の回収率が低い、Web回答だけでなく、住民意識調査と同様に郵便も含めた回答方法を示した方が、回収率のUPにつながったのではないかと思います。	水準	
意見交換会の開催	基準	事前周知が情報公開コーナー、図書館でされていません。結果公表が図書館でされていません。	基準	④地区別ワークショップは、概ね基準にそって行われていた。	基準	良好
	水準	各センターで実施するなどの工夫があると良かったと考えます。	水準	①～③については、LINEやメール配信を使用した事前周知は評価できます。結果公表先については、①～④共通して限定的であり、市民への周知の工夫が必要であると思います。	水準	

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑩ （仮称）景観とみどりの基本計画策定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎	
総合コメント	景観というテーマであったことから、柔軟な方法で市民の意見を集約し、専門的な観点から取りまとめが行われている構造は評価できる。一方で、計画に落とし込んでいく際に、専門家だけではなく、市民が入ることで、もう少し柔軟に考えることができる可能せもあるのではないか。（もちろん専門家の方々だけでも、市民意見を解釈して良いものを作り上げてくださると考えている。）		景観とみどりの基本計画策定事業では、審議会・アンケート調査・ワークショップ・キックオフシンポジウムなど、多様な市民参加の手法が導入されています。審議会では公募委員を含まないものの、その理由が明確に示され、周知や会議録公開も適切に行われています。アンケート調査では十分な実施期間が確保され、Web回答の導入により回収率39.6%と望ましい基準を超える成果が得られました。今後は審議会で単なる報告にとどめず、調査結果を踏まえた議論につなげることが期待されます。ワークショップは小学生未満の参加も認める柔軟な設計やデジタルサイネージ、ポスターなど多様な周知手法が特徴的で、世代を超えた参加を可能にしています。さらに、キックオフシンポジウムでは有識者のパネルディスカッションを通じて理解を深め、出席者アンケートで意見を収集するなど、双方向の市民参加が実践されています。これらの多面的な取組は、市民の声を計画に生かすうえで重要な基盤となっています。		概ね妥当に取り組まれているが、一部「事前周知」、「結果公表」について取組みの弱い部分がみられる。		基準は、最低限満たすべきと考える。審議会委員の専門委員とは何か、どのように選出したかを明確にすべきである。アンケート調査の対象者の26%が事業所であるならば回収率39.6%は、低く感じる。自己評価での改善点は、原因を究明し実行を期待する。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	専門的知見を集約することが求められる会議であるため、市民が参加していないことは理解できるが、景観については市民感覚こそ専門性になり得ることから、市民を入れるという選択肢もあったのではないか。	基準	・公募委員は含まれていませんが、公募を行わない理由が明確に説明されており、基準に則った対応である。 ・会議の周知や会議録の公開についても条例基準に従い適切に行われている。	基準	概ね妥当に取り組まれている。	基準	委員構成のその他4名の専門委員の基準が不明である。
	水準	アンケート等の別のルートの市民参加を反映する際に、市民が入っていた方が良い面もある。	水準	・会議の開催回数は2回。 ・会議資料が分かりやすい形で開示されており、市民や関係者にとって理解しやすい環境が整えられている。	水準	上記に同じ。	水準	専門委員とは、何かを明確にすべきと考える。
アンケート調査の実施	基準	妥当な内容であったと思う。	基準	・事前周知については、ホームページに加え、情報公開コーナーや図書館で行う必要がある。 ・アンケートの実施期間については、十分な期間が設けられており、市民が回答しやすい環境が整えられている。 ・自己評価にあるように、web回答の導入により回答率を高める工夫がなされている。	基準	概ね妥当に取り組まれているが、一部「事前周知」、「結果公表」についてはより積極性がみられる。	基準	アンケートの事前周知、結果の公表場所ともに基準を満たしていない。アンケートの対象の26%が事業所であり、事業所が回収率のどの程度を占めるかが不明であるが、事業所を含めての39.6%は低いと感じる。
	水準	広報においてSNS等を使用することで、もう少し回収率が高くなったのではないか。	水準	・回収率は39.6%で、望ましい基準とされる30%以上を超えており、十分な成果が得られたと評価できる。 ・審議会等への結果報告は、単に資料の配布や説明にとどまらず、アンケート結果を踏まえた議論の場とすることで、より実効性のある市民参加につながる。	水準	上記に同じ。	水準	基準は、最低限守るべきと考える。
ワークショップの開催	基準	大変興味深い内容のワークショップである。可能であれば、参加した方々の満足度や感想について教えていただきたい。	基準	・対象資格について、小学3年生未満の子どもも保護者同伴で受け入れている点は、世代を広く対象とする面白い取組である。 ・周知方法としてデジタルサイネージを導入している点は新しい試みであり、白井市において具体的にどのような方法で活用されているのか関心があります。	基準	概ね妥当に取り組まれているが、一部「事前周知」、「結果公表」への取組みは弱い	基準	事前周知、開催記録の公表場所ともに、基準を満たしていない。開催回数に関しては、評価する。
	水準	参加した方々は、チラシ等を見て参加したのか、市役所から呼びかけたのか。	水準	・多様な手法を用いて積極的に周知を行っており、参加機会の拡大に寄与している。 ・ポスターやチラシによるPRも実施されている。	水準	上記に同じ。	水準	基準は、最低限満たすべきと考える。
その他の方法	基準	様々なツールを使用して事前周知ができたことは評価できる。	基準	・広報しろい・図書館・情報公開コーナーでの事前周知が必要とされている。	基準	概ね妥当に取り組まれているが、一部「事前周知」、「結果公表」への取組みは弱い。	基準	事前周知場所に情報開示コーナーが含まれていない。開催記録の公表場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない。参加者の内訳は不明だが、参加者人数に関しては基準はないが人数を評価する。
	水準	参加した方々の参加動機や満足度が分かれば教えていただきたい。	水準	・有識者によるパネルディスカッションを通じて、市民が事業の内容をよく理解できるよう工夫されている。 ・シンポジウム出席者へのアンケートを実施し、市民の意見を直接収集している。	水準	上記に同じ。	水準	基準は、最低限満たすべきと考える。

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑩ （仮称）景観とみどりの基本計画策定事業

委員氏名	折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文	
総合コメント	アンケートの周知、及び結果の公表箇所が不足しています。 地域別のワークショップを6回にもわたって開催され、地域ごとに市民からの様々な意見収集をされたこと、また「白井市景観とみどりの基本計画キックオフシンポジウム」も、市民参加にとって意義のあるものと考えます。		多様な市民参加の手法がとられていました。 キックオフシンポジウムは、意見交換会やワークショップのような積極的な市民参加ではありませんが、計画の内容や課題を把握できる良い機会だと思いました。 アンケート調査においては、市民対象と事業所対象ごとの回収率を明らかにしていただくと、調査に関する市民の参加状況などが分かりやすいと思います。 今後、実施されるパブリックコメントは、事前周知や分かりやすい資料の提供と、条例基準に沿った結果公表をしていただくようお願いします。		良好に実施されている。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	「公募委員なし」の理由は、専門分野に特化した議論を行うということと、理解しました。	基準		基準	良好
	水準	会議録の公表が1カ月以内にされると良いと考えます。公表形式を一層わかりやすくすることが求められます。	水準	より専門的な委員会とのことですが、市民委員の参加があると良かったと思います。	水準	
アンケート調査の実施	基準	事前周知がホームページ、情報公開コーナー、図書館でされていません。結果公表が情報公開コーナー、図書館でされていません。	基準	結果公表がHPのみであった。	基準	良好
	水準	事前周知、及び結果公表について、一層の積極性が期待されます。	水準	回答方法は、郵便とWeb調査があるので、回答の選択肢が広がったと思われます。 また、督促はがきの送付で回収率アップの工夫をしていることは良かったです。	水準	
ワークショップの開催	基準	地域別のワークショップを6回にもわたって開催され、地域ごとに市民からの様々な意見収集をされたことは評価します。	基準	結果公表が、HPのみであった。	基準	良好
	水準	事前周知にはデジタルサイネージを用いるなど工夫が見られますが、結果公表には一層の積極性が期待されます。	水準	事前周知をポスターやチラシに加え、デジタルサイネージの活用で、視覚的に情報を提供する取り組みは良かったと思います。 結果公表がHPにあることを周知する工夫が必要であると思います。	水準	
その他の方法	基準	「白井市景観とみどりの基本計画キックオフシンポジウム」は、市民参加にとって意義のあるものと考えます。	基準	結果公表がHPのみであった。	基準	良好
	水準	「シンポジウム」という良い取組を行ったので、結果公表にも一層の積極性が期待されます。	水準	条例基準による情報公開コーナーや図書館での結果公表ができないのであれば、HPで公表していることの周知が必要であると思います。	水準	

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑪ 白井市地域公共交通計画策定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎	
総合コメント	交通については、関連して様々な課題があると考えられるため、市民意見をしっかりと集約することが求められる。アンケート調査をバス停で行っていた点について、素晴らしいと思った。		白井市地域公共交通計画策定事業における市民参加は、審議会、アンケート調査、さらに今後予定されているパブリックコメントやワークショップなど複数の手法で構成されている点について高く評価することができます。 審議会は委員数24名とやや多く、そのうち市内在住・在勤者が14名、市外委員が10名を占めています。この結果についてご教示いただきたいです。公募委員の募集周知については、条例基準に基づき情報公開コーナーや図書館でも行う必要がありますので、今後庁内で共有をお願いします。審議会には、毎回5名以上の傍聴者が参加して市民参加が機能しています。 アンケート調査は「15歳以上の市民およびナッシー号利用者」を対象として実施されましたが、この設定理由について確認が必要です。アンケートの実施期間は36日間と十分に確保され、回収率は53.2%と望ましい基準を上回りました。ただし、事前周知が行われなかった点については理由をお聞きしたいです。審議会へのアンケート結果報告についても、資料配布にとどめず議論に活用することが求められます。		概ね妥当に取り組まれているが、アンケートの「事前周知」については一層の積極性が欲しかった。		基準は、最低限満たすべきと考える。公募は選考基準に準ずるべきである。アンケートの事前周知はされていなく、しなかった理由があるのならば明確にすべきである。また、委員総数が24名に対して公募人数が2名では、会議において広く一般市民の意見が反映されるとは考えにくく公募人数比率を増やすべきと考える。基準で明確化を図っても良いと考える。審議会議事録の公開は、速やかに行うべきである。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	全体の人数が多いため、市民公募をもう少し多くしても良かったのではないか。	基準	・委員数は24名であり、やや多い印象がある。また、市内在住・在勤の委員は14名で、市外の委員が10名を占めている点は特徴的である。 ・公募委員の募集周知については、条例基準に基づき情報公開コーナーおよび図書館でも実施される必要がある。	基準	概ね妥当に取り組まれているが、公募にあたっての「募集」にはより一層の積極性が欲しかった。	基準	2名の公募委員がすべて女性であり、51歳以上である。公募の周知場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない。会議録の公開を半年以内としている。
	水準	無作為抽出で若手の女性の方が参加されていることは評価できる。	水準	・会議は年間2回開催。 ・各回において5名以上の傍聴者が参加しており、市民に開かれた形で実施されている。	水準	上記に同じ。	水準	基準は、最低限満たすべきと考える。公募は選考基準に準ずるべきである。また、委員総数が24名に対して公募人数が2名では、会議において広く一般市民の意見が反映されるとは考えにくく公募人数を増やすべきと考える。
アンケート調査の実施	基準	目的の部分が切れてしまっている。	基準	・対象者を「15歳以上の市民およびナッシー号利用者」とした理由についてご教示ください。 ・実施期間は36日間と十分に確保されており、市民が回答しやすい環境が整っている。 ・アンケートの事前周知が行われていない点については、その理由をご教示ください。	基準	概ね妥当に取り組まれているが、「事前周知方法」についてはより強く取り組むべきである。	基準	アンケートの事前周知がない。
	水準	とても忙しい時期に実施しているため、年末年始を避けることはできなかったのか。他方、アンケートの配布について、交通の現場で行っており、大変高く評価できた。回答率が高いことも高く評価できた。	水準	・回収率は53.2%で、望ましい基準とされる30%以上を大きく上回っており、高い成果が得られている。 ・審議会への結果報告は資料の配布や説明にとどめず、調査結果を踏まえた議論を行うことが望ましい。	水準	上記に同じ。	水準	基準は、最低限満たすべきと考える。逸脱するのなら理由を明確にすべきと考えら。

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑪ 白井市地域公共交通計画策定事業

委員氏名	折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文	
総合コメント	審議会委員の公募の周知が「情報公開コーナー」で実施されていません。 今後「パブリックコメント」や「ワークショップ」において、市民の意見の積極的に収集されることを期待します。		アンケート調査により市民の意見を聴取する取り組みは良かったと思います。 しかし、「事前周知を行わない」という理由が、提出された資料からは読み取れませんでした。 今後パブリックコメントの募集を予定されていますが、実施予定期間が令和7年12月22日～令和8年1月4日となっています。年末年始は市民の生活もあわただしく、この間の実施は無理があるのではないのでしょうか。		良好に実施されている。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	審議会委員の公募の周知が情報公開コーナーで実施されていません。	基準	協議会で使用された資料は分かりやすく整理され、公表されていました。	基準	良好
	水準	公募委員の割合が低く、また審議会の結果公表時期が遅いなど、市民参加に関して一層の努力が期待されます。	水準	公募委員の割合が低く感じられました。応募者数が多くありませんが、市民が利用する地域の公共交通を協議するという観点からも、市民委員の割合を増やす工夫があると良かったと思います。	水準	
アンケート調査の実施	基準	アンケートの主旨から判断し、進め方に問題ないと考えます。	基準	事前周知がなされていなかった。 協議会で報告されたアンケート結果（中間報告）は分かりやすくまとめられていた。	基準	良好
	水準	アンケートの結果について、一層積極的な公表手段を用いることが期待されます。	水準	協議会で報告された内容は、中間報告であった。公表予定が令和7年7月31日（予定）となっているが、9月14日現在、HP上では確認ができなかった	水準	

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑫ 地域福祉計画策定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎	
総合コメント	地域福祉なので、地域で取り組んでいる団体や通いの場を実施している団体へのヒアリング等も行うと良いのではないか。		地域福祉計画策定事業における市民参加については、審議会やアンケート調査を中心に進められており、今後はパブリックコメントやワークショップの開催も予定されています。 審議会については、公募委員募集の周知方法に改善の余地がある一方、会議の事前周知や会議録公開は条例基準に沿って適切に実施されています。また、アンケート結果を踏まえた意見交換が行われており、市民参加が実質的に確保されている点は望ましいと考えられます。 アンケート調査については、実施期間が十分に確保され、市民が回答しやすい環境が整っていました。一方で、周知の有無の欄が「無」とされており、実際にどのような周知が行われたのか確認が必要です。周知を行う場合は広報しろい、情報公開コーナー、図書館で実施することが求められます。結果については資料配布に加えて審議会で議論が行われ、市民意見が実効的に活用されています。		概ね妥当な取り組みがなされているが、「事前周知の方法」にもう少し積極性が欲しかった。		基準は、最低限満たすべきと考える。アンケートの回収率は、及第点と考えるがさらなる回収率向上を検討、実施されることを期待する。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	応募者が2名で決定者が3名なのはなぜか。	基準	・公募委員の募集に関する事前周知は、情報公開コーナーや図書館でも行う必要がある。 ・会議の事前周知や会議録の公開については、条例基準に基づいて適切に実施されている。 ・会議の出席率はやや低い印象。	基準	概ね積極的に取り組まれている。	基準	公募者が51歳以上であるのに対して無作為抽出で36歳から50歳の方が選ばれたのは、無作為でも年齢枠を考慮したのかは不明であるが、年齢構成は基準を満たしている。公募の周知場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない。
	水準	無作為抽出で若手の女性の方が参加されていることは評価できる。	水準	・実施されたアンケート結果について、審議会の場できちんと意見交換が行われており、市民の意見が議論に反映される仕組みとなっている。市民参加が実質的に実現している点は望ましいと考えられる。	水準	上記に同じだが、「公募委員」関連事項の取り扱いが若干弱い。	水準	基準は、最低限満たすべきと考える。
アンケート調査の実施	基準	目的の部分が切れてしまっている。	基準	・実施期間は十分に確保されており、市民が回答しやすい環境が整っている。 ・周知の有無の欄が「無」とされていましたが、実際にはどのような周知が行われたのでしょうか。周知を行う場合は、広報しろい・情報公開コーナー・図書館でも実施する必要があります。	基準	概ね妥当な取り組みがされているが、「事前周知の方法」にもう少し積極性が欲しい。	基準	事前周知場所に広報しろい、情報開示コーナー、図書館が含まれていない。アンケートの回収率の基準はないが、良い方だと判断する。
	水準	とても忙しい時期に実施しているため、年末年始を避けることはできなかったのか。	水準	資料の配布や説明にとどまらず、審議会においてアンケート結果をもとに議論が行われており、市民参加の実効性が確保されている。	水準	上記に同じ。	水準	基準は、最低限満たすべきと考える。アンケートの回収率の向上を図る検討を期待する。

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑫ 地域福祉計画策定事業

委員氏名	折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文	
総合コメント	審議会委員の公募の周知が「情報公開コーナー」で実施されていません。 今後「パブリックコメント」や「ワークショップ」において、市民の意見の積極的に収集されることを期待します。		地域福祉策定作業1年目に、審議会とアンケート調査の市民参加に取り組みました。2年目にパブリックコメントとワークショップを予定されていますが、可能であればより多く市民参加ができるような取り組みを期待します。 また、今後行われるパブリックコメンについては、アンケート実施の結果や自己評価を踏まえ、実施期間の十分な設定等検討をしていただければと思います。		良好に実施されている。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	審議会委員の公募の周知が「情報公開コーナー」で実施されていません。	基準	公募の周知力所で情報公開コーナーと図書館で実施されていなかったが、その他は概ね基準に沿って行われていた。	基準	良好
	水準	市民感覚が大切な事業と判断しますので、公募委員の募集について一層の積極性を期待します。	水準	公募委員の割合が少ないと思います。応募者が多くありませんが、無作為抽出を増やすなどの工夫があると良いと思います。	水準	
アンケート調査の実施	基準	広報しろいで事前周知が実施されていません。	基準	事前周知がHPと担当課窓口だけであった。	基準	良好
	水準	アンケートの実施について事前周知は、対象者、以外問わず一層積極的になされることを期待します。	水準	委員会で説明と協議が行われたことは良かったと思います。 アンケートの回収率を上げるための工夫が必要であると思います。	水準	

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑬ 白井市第2次産業振興ビジョン（仮称）策定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎	
総合コメント	アンケート調査をしっかりと行っており、それらが審議会に反映されている点は評価できる。一方で、重要なステークホルダーである事業者からの回答が少ないため、アンケートの回収率を高めることが必要だったのではないか。		第2次産業振興ビジョン策定事業では、審議会、アンケート調査、インタビュー調査、さらにパブリックコメントも予定されており、複数の市民参加手法が組み合わされています。 審議会については、公募委員募集の周知を情報公開コーナーや図書館でも行う必要がありますが、会議の事前周知や会議録の公開は条例基準に沿って適切に行われています。また、アンケートの設計や結果について審議会でも議論されており、市民意見を実質的に反映させる仕組みが確認できます。 アンケート調査は3種類実施されましたが、産業振興ビジョンに関する調査の回収率は16%にとどまりました。自己評価では、市内での事件発生や委託業者名での送付が原因と分析されており、今後庁内での情報共有が望めます。市のSNSを活用した周知は高く評価することができます。 インタビュー調査については、対象者の選定基準をご教示ください。また、インタビュー調査の結果は非公開となっていますが、この市民参加により説いた意見を事業にどのように反映させるかご教示ください。		概ね妥当な取り組みが行われている。		基準は、最低限満たすべきと考える。公募に関しては公募在り方、基準の順守を明確にすべきと考える。アンケート調査回答者へのインタビュー調査の対象者がアンケート回答者であれ、何をしているかを公開する必要があり最低限満たすべきと考える。市が行ったアンケートに関連した結果を、委託業者が計画策定のソースとして実施したとの理由で記録や公表がされなかったのは、市の事業として疑問を感じる。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	比較的専門的な内容かと思ったが、公募数も多く、市民の関心が高いことが伺えた。	基準	・公募委員の募集にあたっては、情報公開コーナーおよび図書館でも事前周知を行う必要がある。 ・会議の事前周知や会議録の公表については、条例基準に則って適切に実施されている。	基準	概ね妥当な取り組みがされているが、「公募委員の募集」についてはもう一歩積極性が欲しい。	基準	公募の周知場所に情報公開コーナー、図書館が含まれていない。公募に5名応募したが決定したのが1名、無作為で2名選出、内訳は2名とも66歳以上の女性としているが、偏りがあり理由が不明である。
	水準	無作為抽出で2名入っているのは評価できる。	水準	・アンケートの設計段階や結果について、審議会の中で議論が行われており、市民参加の実質的な反映が図られている。	水準	上記に同じ。	水準	基準は、最低限満たすべきと考える。公募在り方、基準の順守を明確にすべきと考える。
アンケート調査の実施	基準	実施方法や時期は妥当であった。	基準	・本事業では3種類のアンケートが実施されています。そのうち「産業振興ビジョン策定に向けたアンケート調査」については回収率が16%にとどまった。 ・自己評価では「市内で発生した盗難事件直後に委託業者からアンケートが送付されたため、市民が不審・不安に感じた」「配布したアンケートを事業者名での送付が原因と分析されており、今後どういった事例を情報共有することが望ましい」	基準	概ね妥当な取り組みを行っている。	基準	全ての調査において事前周知、結果の公表場所共に基準を満たしていない。
	水準	商工業者の回答率が低かったのが気になった。	水準	周知の方法として市のSNSも活用しており、多様な媒体を通じて情報発信を行おうとする姿勢が見られる。	水準	上記に同じだが、「事前周知の方法」「結果公表」はもう少し積極性が欲しい。	水準	基準は、最低限満たすべきと考える。アンケート調査の発送件数に関する、基準、取決めが必要と考える。
その他の方法	基準	インタビューについてはアンケート実施前から決まっていたのか。アンケート回収率が低かったため、実施したのか。大変素晴らしい取り組みだと思ふものの、多様な事業者が存在していることから、一部にインタビューをして、どのように役立てていくかが気になった。	基準	アンケート回収者の中から特性のある回答者をどのように選定したのか、その基準や方法についてご教示ください。	基準	概ね妥当な取り組みが行われている。	基準	事前周知、公表とともに基準を満たしていない。
	水準		水準	インタビュー調査の結果は非公開とされていますが、そこで得られた市民の声がどのように事業に反映されるのかご教示ください。	水準	上記に同じ。	水準	基準は、対象者がアンケート回答者であれ、何をしているかを公開する必要があり最低限満たすべきと考える。市が行ったアンケートに関連した結果を、委託業者が計画策定のソースとして実施したとの理由で記録や公表がされなかったのは、疑問を感じる。

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑬ 白井市第2次産業振興ビジョン（仮称）策定事業

委員氏名	折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文	
総合コメント	審議会委員の公募の周知が「情報公開コーナー」で実施されていません。 審議会の3回開催は妥当と思います。 アンケートを、市民、農業関係者、商・工業者に分けて実施され、様々な角度から情報収集されようとしたことは良いと思いますが、商・工業者の回収率が16%と他に比べても低いことが気になります。		アンケート結果は分かりやすくまとめられていました。結果公表時期も早く、審議会で説明・議論をおこなわれ、担当課のご努力が伺えます。 アンケートは商・工業者向けの回収率が低いようです。市民向けだけではなく、他のアンケート対象にも回収率向上のための取り組みが必要であったと思います。事業者向けのアンケートの回収数が多ければ、より多くの課題などを把握したうえでのインタビューが可能になったのではないのでしょうか。 市民委員の募集は、選考基準の関係等もあるかも知れませんが、意欲をもって応募する市民の参加が増えることを望みます。		良好に実施されている。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	審議会委員の公募の周知が「情報公開コーナー」で実施されていません。会議録をわかりやすく公表する工夫が実施されていません。	基準	市民委員の割合が低いと思います。会議録は条例基準にそって公表されていません。	基準	良好
	水準	公募委員の割合が低く、またその募集方法についてもより多くの手段にて積極的にされることを期待します。	水準	会議録が速やかにまとめられ公表されました。	水準	
アンケート調査の実施	基準	アンケートの事前周知が情報公開コーナー、図書館でなされていません。また、結果公表が図書館でなされていません。	基準	商・工業者向けの回収率が低い。結果は分かりやすくまとめられていました。	基準	良好
	水準	商・工業者の回収率が16%と他に比べても低いことが気になります。回収率アップのための工夫が期待されます。	水準	商・工業者向けのアンケートも回収率を上げる工夫が必要であったと思います。	水準	
その他の方法	基準	アンケート回答者に対する個別インタビューということですので、結果の公表については難しいものと判断します。	基準		基準	良好
	水準	あらためて、このインタビュー調査の目的について、理解したいと考えます。	水準	条例基準に馴染みにくいですが、アンケート結果を補完する取り組みであったと思います。	水準	

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑭ (仮称) 白井市男女共同参画計画策定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎	
総合コメント	比較的若い層の声が吸い上げられたことは評価できた。それらが審議会で報告されていたことも良かったため、今後の計画策定においては、それらを吟味しながら計画に落とし込んでいただきたい。		男女共同参画計画策定事業では、審議会、アンケート調査、ワークショップなど複数の市民参加の手法が導入されています。審議会については、公募委員募集の事前周知は図書館でも行う必要がありますが、会議の事前周知や会議録の公表は条例基準に基づき適切に実施されています。また、公募委員が98%を占め、女性比率も62%と高く、バランスの取れた構成が確認できます。アンケート調査は条例基準に則って実施され、回収率81.1%という高い成果を上げています。WEB調査の導入により回答しやすい工夫が見られた一方で、実施期間が8日間とやや短い点や、中学2年生を対象に限定した理由についてはご説明をお願いします。ワークショップについては、複数の手段で周知が行われ、11名が参加しました。ポスターやチラシを用いたPRも実施され、市民意見を収集する機会となっています。今後は、そこで出された意見が計画にどのように反映されるのかを明らかにすることが望まれます。		概ね積極的に取り組みまれているが、各「結果公表」はもう少し早く出すべき。		市民活動支援課が行った事業で公募における周知場所に基準にある図書館が含まれていないのは残念である。この事業にかかわらず周知、公表場所に図書館が含まれない事業が多い。周知、公表場所としての図書館の在り方を考えていただきたい。自己評価の改善点の実行を期待する。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	多くの公募が集まっており、関心が高いテーマであることが分かった。無作為抽出も3名入っており、若手も多く比較的バランスが良いと考えられる。	基準	・公募委員募集の事前周知については、図書館でも行うことが求められる。 ・会議の事前周知や会議録の公表については、条例基準に基づき適切に実施されている。	基準	概ね積極的に取り組みが行われている。	基準	公募の周知方法に図書館が含まれていない。会議録の公開を半年以内としている。
	水準	平日日中に行われているため、重要な回については夜や休日に開催することもありかと考えられる。	水準	・技術的・専門的な審議会としては、公募委員の割合が30%以上であることが望ましいとされていますが、当該審議会では公募委員が38%を占めている。また、女性の割合も62%となっており、バランスの取れた委員構成が実現されている。	水準	上記に同じだが、「結果公表」はもう少し早く。	水準	基準は、最低限満たすべきと考える。公募の周知場所を工夫しているにも関わらず図書館が含まれていないのは残念である。
アンケート調査の実施	基準	時期、回収率、対象は妥当である。	基準	・条例基準に則ってアンケートが実施されている。 ・ただし、実施期間は8日間とやや短い印象がある。 ・対象を中学2年生に限定した理由についてご教示ください。	基準	概ね妥当な取組みがなされている。	基準	基準を満たしていると考える。
	水準	子供達に対してアンケートを実施しており、若い層の声が吸い上げられたことは評価できる。	水準	・回収率は81.1%と高く、十分な成果が得られている。 ・また、WEB調査を導入することで回答しやすい環境を整えている。 ・アンケート調査は審議会で資料の配布・説明による報告にとどまらず、議論することが望ましい。	水準	上記に同じだが、「結果公表」はもう少し早く。	水準	50%以下の回収率が2件あり、さらなる回収率向上を期待する。
ワークショップの開催	基準	幅広く声を集める上でワークショップは素晴らしい取り組みであるが、1回の実施だと参加者が少ないため、同じプログラムで複数回実施することもあると考えられる。	基準	・周知の方法として複数の手段がとられており、市民への情報提供が工夫されている。 ・いつ頃から公表を開始したのでしょうか。	基準	概ね妥当に実施されている。	基準	開催記録の公表が開催後4か月半後である。
	水準	せっかくのワークショップであるが、参加者が11名であったため、複数回にするか、1回あたりの参加者を増やした方が良かったのではないか。	水準	・ワークショップには11名が参加しており、一定の市民意見を収集する場となっている。 ・周知方法としてポスターやチラシを用いたPRが行われている。 ・ワークショップで出された意見や内容が、今後どのように事業へ反映されるのでしょうか。	水準	上記に同じだが、「結果公表」はもう少し早く。	水準	開催記録の公表は、開催後1か月以内が望ましいと考える。

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑭ （仮称）白井市男女共同参画計画策定事業

委員氏名	折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文	
総合コメント	審議会の4回開催は妥当と思います。 アンケートを、「市内在住の満18歳以上2,000人」「市内在勤者500人」「白井市立中学校2年生」と分けて実施され、様々な角度から情報収集されようとしたことは良いと思います。特に中学2年生に対して実施されたことは、世代間の意識の差を理解することが出来るという点で大変良い取組であると考えます。		アンケート調査の対象に中学生を加えたことで、幅広い年齢層の意見を聴取できたと思います。また、一般市民と事業所向け調査は督促はがきを送付し回収率アップのための工夫が見られました。ワークショップは公表された内容が具体的に市民の率直な感想や課題が明らかになっていたと感じられました。開催回数の増や参加しやすい開催場所の検討がなされると良かったと思います。 今後実施予定のパブリックコメントは、年末年始の繁忙期を避けていただくか、十分な期間設定をご検討いただくことを望みます。		良好に実施されている。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	公募委員の募集が図書館でされていません。会議録の公表を一層わかりやすくする工夫が期待されます。	基準	概ね基準通りに行われていた。	基準	良好
	水準	会議録の公表時期を早めることが期待されます。	水準	会議録公表期間の短縮を望みます。	水準	
アンケート調査の実施	基準	アンケートの目的を周知されていたのでしょうか。	基準	調査対象に中学生を加えたことは良かったと思います。	基準	良好
	水準	アンケートを、「市内在住の満18歳以上2,000人」「市内在勤者500人」「白井市立中学校2年生」と分けて実施され、様々な角度から情報収集されようとしたことは良いと思います。	水準	結果報告は分かりやすくまとめられていたが、報告書記載の期日と公表の期日の差異が大きいと感じられました。	水準	
ワークショップの開催	基準	ワークショップ終了後に、意見を受けても良かったのではないかと思います。	基準	会議録の公表は、基準通りであり、会議録はわかりやすくまとめられていました。	基準	良好
	水準	複数回開催出来ると理想的と考えます。	水準	ポスターやチラシによる事前の周知に工夫が見られました。会議録公表までの期間が長い。	水準	

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑮ （仮称）障害者計画策定事業

委員氏名	竹内 彩乃		稲葉 知恵子		吉井 信行		大嶋 信太郎	
総合コメント	様々な参加手法を組み合わせしており、利害関係社からの意見も吸い上げられている点が評価できた。		障がい者計画策定事業では、審議会、パブリックコメントの募集（予定）、アンケート調査、ヒアリングと複数の手法により市民参加を実現しています。 審議会については、公募委員募集の事前周知が適切に行われていますが、会議の周知は情報公開コーナー、会議録の公開は図書館でも実施する必要があります。アンケート調査の内容や結果は審議会で議論され、市民参加が実質的に確保されています。公募委員の割合は20%にとどまるものの、女性比率は53%に達し、一定のバランスが見られます。 アンケートは条例基準に則って実施され、回収率が54.9%と非常に高く、WEB調査の導入により回答しやすい環境が整えられていました。結果は配布・説明に加えて審議会での議論に活用されており、実効性が確認できます。 さらに、ヒアリングでは対象者の選定方法や公開・非公開の扱いを明らかにする必要がありますが、実施によって計画策定に必要な具体的な意見が収集されており、価値ある取組といえます。		概ね妥当に取り組みまれているが、各「事前通知の方法」と「結果公表」については取り組みが弱い。		審議会開催周知場所に情報開示コーナーが、会議録の公開場所に図書館が含まれていない。また、アンケート調査実施周知場所に広報しろいが、ヒヤリングの事前周知に広報しろい、情報公開コーナー、図書館が含まれていない。公募委員が年齢に偏りがあるとともにすべて男性である。基準は、最低限満たすべきと考える。ヒヤリングシートを配布した団体等の数が不明確である。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	多くの応募者があり、関心の高さが伺えた。	基準	・公募委員募集の事前周知は適切に行われている。 ・会議の事前周知は情報公開コーナーでも行う必要がある。 ・会議録の公表は図書館でも行うことが求められる。	基準	概ね妥当に取り組まれている。	基準	公募委員が年齢に偏りがあるとともにすべて男性である。会議開催の周知場所に情報開示コーナーが含まれていない。また、会議録の公開場所に図書館が含まれていない。
	水準	Youtubeの活用は初めて見たため素晴らしいと思った。	水準	・市民公募委員募集の事前周知について市市のSNSやYouTubeを活用している。 ・アンケート調査の内容や結果について審議会で議論が行われており、市民参加が実質的に確保されている。 ・公募委員の割合は20%にとどまっていますが、女性の割合は53%に達しており、一定のバランスが図られている。	水準	上記に同じだが「事前通知の方法」と「結果公表」についてはより積極的になるべき。	水準	基準は、最低限満たすべきと考える。
アンケート調査の実施	基準	多忙な時期の実施であるが、少しでもすすめることは難しかったのか。	基準	条例基準に則って、適切にアンケートが実施されている。	基準	概ね妥当に取り組まれている。	基準	アンケート調査の実施期間は、26日間であるが年末年始を挟んでいる。事前周知場所に広報しろいが含まれていない。
	水準	多様な層にアプローチされていた。中学生に対するアンケートは、他のアンケートと一緒に進めていたのか？であれば大変素晴らしいと思いました。	水準	・回収率は54.9%と非常に高く、十分な成果が得られている。 ・WEB調査を導入し、回答しやすい環境を整えている。 ・審議会において資料の配布や説明にとどまらず、結果を踏まえた議論が行われており、市民参加の実効性が確保されている。	水準	上記に同じだが、「事前周知の方法」と「結果公表」についての取り組みが弱い。	水準	基準は、最低限満たすべきと考える。実施期間は年末年始を外すべきと考える。
その他の方法	基準	適切に実施されている。	基準	・対象者をどのように選定したのか、その基準や方法についてご教示ください。 ・実施方法に関して公開の有無がチェックされていません。	基準	妥当な取り組みを期待したい。	基準	ヒヤリングの事前周知に広報しろい、情報公開コーナー、図書館が含まれていない。ヒヤリングシートを配布した団体等の数が不明確。
	水準	日々の課題の吸い上げが行える現場であることから大変重要な取り組みであると思う。一方で、どこに話を聞くかによって結果が変わることもあることから、団体選定について教えていただきたい。	水準	ヒアリングを実施したことで、計画策定に必要な具体的な意見が収集されており、市民参加の手法として価値があるものと考えられます。	水準	上記に同じ。	水準	対象者が誰でも、基準は最低限満たすべきと考える。

令和7年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑮ （仮称）障害者計画策定事業

委員氏名	折原 圭太		岡澤 和枝		増子 直文	
総合コメント	審議会の2回開催は少ないのではないかと思います。アンケートを、「手帳を持っている人」「//持っていない人」「白井市立中学校2年生」と分けて実施され、様々な角度から情報収集されようとしたことは良いと思います。回収率54.9%の対象ごとの内訳について教えてください。		アンケート調査で中学2年生が対象となっていました。若い世代への調査は意識啓発の視点からも必要であると思いました。音声付き会議録が公表されていることは、今回初めて知りました。このことは積極的に周知されているのでしょうか。今後実施予定のパブリックコメントは、令和7年12月～令和8年1月となっていますが、年末年始の繁忙期を避けていただくか、十分な期間設定を検討していただければと思います。また、担当課としての自己評価が記載されていると良かったと思います。		良好に実施されている。	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	審議会の2回開催は少ないのではないかと思います。事前周知が情報公開コーナーでされていません。結果の公表が図書館でされていませ	基準	概ね基準に沿って行われていました。	基準	良好
	水準	事前周知はより多くの手段で積極的にされることを期待します。	水準	会議録の公開は速やかに行われていました。また、音声付き会議録もあり、ユニバーサルの視点から公開されていることは良かったと思います。	水準	
アンケート調査の実施	基準	広報しろいで、事前周知されていません。	基準	中学生を調査対象に加えたことは良かったと思います。	基準	良好
	水準	アンケートを、「手帳を持っている人」「//持っていない人」「白井市立中学校2年生」と分けて実施され、様々な角度から情報収集されようとしたことは良いと思います。また結果の公表については、より多くの手段が取られることを期待します。	水準	回収件数や回収率は、調査対象ごとに明らかにしたらいかがでしょうか。	水準	
その他の方法	基準	特に問題ないと考えます。	基準	条例基準に当てはまりにくい聞き取り調査ですが、必要な手法であると思います。	基準	良好
	水準	ヒヤリング調査の結果をどのように生かしていくのかが、重要であると考えます。	水準		水準	

市民参加の実施に関する提言の検討について

令和 6 年度市民参加対象事業についての各委員からの意見について

1 良かった点

- ・意見交換会、パブリックコメント等の周知方法に市公式 LINE を使用する等、広報の方法に工夫が見られた。
- ・パブリックコメントの意見について、市の考えを審議会に報告し結果を公表していた。
- ・パブリックコメントの周知を議会にも実施していた。
- ・ホームページの閲覧件数が非常に多い事業があった。併せて分析もできると今後の他の事業に活かせると考えられる。
- ・アンケート、パブリックコメントの回収率を増やす取り組みとして QR コードの使用が見られた。
- ・その他の方法として独自の市民参加の手法を取り入れていた。

2 改善点

- ・事前周知、結果公表場所が条例で規定された場所への掲示がないケースが散見された。（特に図書館については掲示していないケースが多くみられた。）
- ・パブリックコメントの件数が集まりにくい点について、概要版の作成、様式等を使用して意見が集まるような工夫があると良い。
- ・市民参加の手法を実施中に意見等が集まらない場合は、再度周知する、行事等に併せて実施する等の検討を行えると良かった。
- ・パブリックコメント、アンケート等の結果について、審議会に報告だけでなく、内容についても議論されると良い。
- ・パブリックコメントの回答方法に Web フォームサイトを使用している事例があった。全庁に共有されると、意見が集まりやすくなるのでは。
- ・パブリックコメント等の開催時期は大型連休等を避ける又は含むのであれば、十分な期間を取ることが望ましい。
- ・専門的な分野についての審議会だとしても、一般公募の委員を入れることについて検討されたほうが良い。